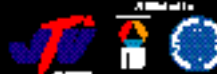


'99 OFFICIAL GUIDE BOOK



**NTT
TRIATHLON
JAPAN CUP**

トライアスロンは2000年シドニーオリンピック正式種目。
燃える! 日本のトライアスリートたち。



 | **NTT Group**

グローバル情報流通企業



必要なときに、必要な人に、必要なことを。
情報には、人を幸せにするチカラがある。

深田 恭子

夢の扉が開かれる。グローバル情報流通企業—NTTグループ

CONTENTS



ごあいさつ	日本トライアスロン連合会長	猪谷 千春	2
	日本電信電話株式会社代表取締役社長	宮津純一郎	3
'99NTTトライアスロンジャパンカップ・レースガイド			4
	その他主要レース		12
オリンピックスポーツ・トライアスロン			14
歴史的なメダルを目指して			16
競技規則について			20
トライアスロン基本用語			22
レースリザルト			23
'99年日本トライアスロン連合強化指定選手			28
General Information on the '99 NTT Triathlon Japan Cup			32

日本トライアスロン連合ホームページ <http://www.jtu.or.jp>

日本トライアスロン連合 (JTU) 〒150-0002東京都渋谷区渋谷2-9-10青山キングビル3F TEL 03-5469-540(代) FAX 03-5469-5403

©日本トライアスロン連合(JTU)1999年 本誌掲載の写真および記事の転載を希望される方はJTUにお問い合わせください。

今年のNTTトライアスロンジャパンカップは、4月11日の第1戦ITUワールドカップ石垣島大会、そして翌週の第2戦ITUワールドカップ蒲郡大会と、2週連続して世界の強者たちとの戦いから始まることとなりました。

さらに、昨年の第6戦村上大会と同様に、第3戦天草大会と第5戦長良川大会も、ITUインターナショナル大会に認定され、海外から多くの選手たちが参加してくるようになりました。

これらのレースでの強化指定選手を含むアスリートたちの戦いは、来年に迫ったシドニー・オリンピックに向け、新しい歴史をつくる土壌になると期待しています。そしてジャパンカップを戦った選手たちの、オリンピックの舞台での活躍は、多くの若者にトライアスロンの楽しさ、すばらしさを伝えてくれるはずです。

また今年は、大会を支えるスタッフをはじめとした関係者の皆様方にも、大切なシーズンになると思います。シドニー・オリンピック終了後、こうした陰の努力が、トライアスロンの普及にとって大きな財産となることを確信するからです。

最後になりますが、今年もトライアスロンを応援していただく日本電信電話株式会社をはじめ多くの企業に御礼申し上げます。また、各大会で運営にかかわる多くのボランティアの方々にも感謝の意を表します。

皆様方のいっそうのご活躍をお祈りすると同時に、NTTトライアスロンジャパンカップが、見るものに勇気と感動を与えることを願っております。



Japan Triathlon Union
President
Chiharu Igaya

日本トライアスロン連合
会長

猪谷 千春

今年も国内唯一のトライアスロン公式戦シリーズ「NTT
トライアスロンジャパンカップ」に特別協賛させていただ
きますことを大変光栄に存じます。

シドニー・オリンピックまであと1年余りとなり、はじめ
て正式種目となるトライアスロン競技への注目度も高まっ
てまいりました。

昨年のシーズンでも、世界の強豪を相手に上位入賞を果
たした日本人選手の活躍は、多くの人に感動を与え、「シド
ニーでメダルを」という目標も決して夢ではないと確信さ
せてくれました。

そして、'99ジャパンカップは全6大会中5大会がオリンピ
ック出場権獲得をかけたポイントレースに指定され、シド
ニーを目指す最終シーズンにおけるトップアスリート達の
壮絶な戦いが繰り広げられることと思われます。

弊社では'90年よりトライアスロンを応援させていただき、
今年で10年目を迎えます。'99年も弊社は、世界を目指す日
本選手の更なるレベルアップに貢献できるよう努力してい
く所存です。

最後になりましたが、各大会のご成功と、トライアスリ
ートの皆様のご健闘、並びにトライアスロン競技の益々
のご発展を祈念するとともに、大会開催にご尽力されました
関係者と多くのボランティアの方々、そして数多くのファ
ンの皆様に深く感謝いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



Nippon Telegraph and Telephone Corporation
President

Jun-ichiro Miyazu

日本電信電話株式会社
代表取締役社長

宮津 純一郎

'99NTTトライアスロンジャパンカップ・レ オリンピックへの戦いがいはじまる

Stage 1 in ISHIGAKIJIMA

第1戦 4月11日
'99ITUトライアスロン・ワールドカップ第1戦石垣島大会
'99石垣島ファミリートライアスロン大会
ITUワールドポイント対象レース
競技距離：51.5km



Stage 5 in NAGARAGAWA

第5戦 8月8日
第5回日本トライアスロン選手権長良川大会
第14回長良川国際トライアスロン大会
ITUワールドポイント対象レース
競技距離：51.5km



Stage 3 in AMAKUSA

第3戦 5月16日
'99第8回ASTCアジア・トライアスロン選手権日本代表
選手選考会
第15回天草国際トライアスロン大会
ITUワールドポイント対象レース
競技距離：51.5km



J T U ジャパンランキングシステムで決まるチャンピオン

昨年に引き続き J T U ジャパンランキング
に Q F (Quality Field) 係数が導入される。

Q F 係数とは、J T U ジャパンランキング
の上位10名に設定される数字のこと(表参照)
この係数を持つ選手が出場する大会では、Q
F 係数保持選手の係数がすべて集計され、各
大会の上位10名に与えられるベースポイント
に乗じて獲得ポイントが決まる。

ベースポイントは右の表の通りで、日本選
手権では通常の1.5倍のポイントとなる。

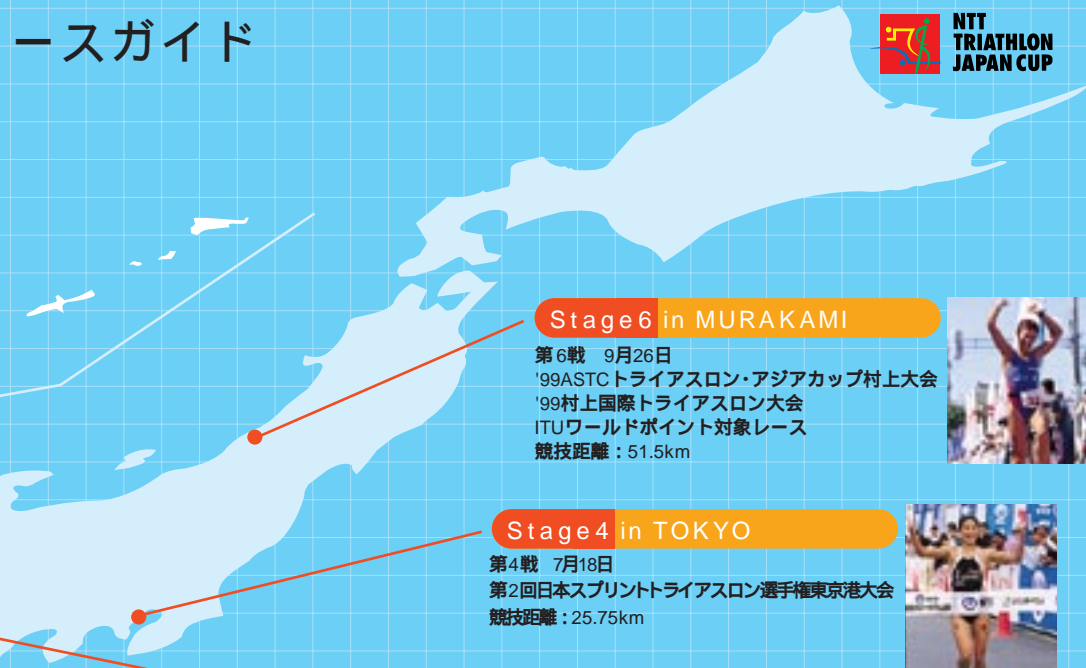
Q F 係数をもつランキング上位選手が多く
出場する大会ほどレベルの高いレースとなる可
能性が高く、そして与えられるポイントも多く
なる。もちろん、すべての出場選手にポイント
獲得のチャンスは平等にある。

6戦終了後、獲得ポイントのうち上位3大会
の合計で「ジャパンカップ」が争われる。また4大
会以上出場してもポイントには加算されない。

このQ F 係数は天草大会終了後変更され、
その後各大会終了後に順次変更される。

(ベースポイント)×(Q F 係数保持選手の係数の合計 + 1) = 獲得ポイント(小数点以下四捨五入)

ースガイド



Stage 6 in MURAKAMI

第6戦 9月26日
 '99ASTCトライアスロン・アジアカップ村上大会
 '99村上国際トライアスロン大会
 ITUワールドポイント対象レース
 競技距離：51.5km



Stage 4 in TOKYO

第4戦 7月18日
 第2回日本スプリントトライアスロン選手権東京港大会
 競技距離：25.75km



Stage 2 in GAMAGORI

第2戦 4月18日
 '99ITUトライアスロン・ワールドカップ第2戦蒲郡大会
 ITUワールドポイント対象レース
 競技距離：51.5km



* 天草、日本選手権、村上の優勝者は、2000年蒲郡アジア選手権出場権が与えられる

ベースポイント

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
通常ポイント	100	80	60	50	40	30	20	15	10	5
日本選手権	150	120	90	75	60	45	30	23	15	8

第1戦のQ F 係数

ランク	1	2	3	4	5
係数	0.19	0.17	0.15	0.13	0.11
女子	庭田 清美	小梅川雪絵	細谷はるな	中西真知子	枇杷田深雪
男子	小原 工	福井 英郎	星野 健一	山本 淳一	小嶋 基史

ランク	6	7	8	9	10
係数	0.09	0.07	0.05	0.03	0.01
女子	大河原浩美	仲野 瑞穂	若月 加代	東山由紀子	半田 恵理
男子	千葉 智雄	中込 英夫*	マイケル・トリーズ*	仁井 晶一	永留 誠

スプリントランキングシステムはp9に、ジュニアランキングシステムはp13に掲載。*の選手は同ランクのため、0.06ポイントずつ



ISHIGAKIJIMA

'99 N T T トライアスロンジャパンカップ第1戦 4月11日(日)
 '99 I T U トライアスロン・ワールドカップ第1戦石垣島大会
 '99石垣島ファミリートライアスロン大会

今年も世界のトライアスロンシーズンは石垣島で幕を開ける。いよいよ待ったなしのシドニー・オリンピック出場をかけ、各国選手がしのぎを削るレースがはじまる。1周750mの変形トライアングルを2周回する登野城漁港のスイムコースは、南国特有のコーラルブルー。市街地のバイクコースは、直角カーブの多い16周回のテクニカルコース。ドラフティングも公認で、選手間の駆け引きが見物だ。ランは市街地で待ち受ける観客のなかを4周回する。庭田清美が一昨年6位、昨年10位と好成績を残しているだけに、日本選手の活躍に期待がかかる。I T U 公認大会。



NTT
 TRIATHLON
 JAPAN CUP

主催 '99 I T U トライアスロン・ワールドカップ石垣島大会・'99石垣島ファミリートライアスロン大会組織委員会(石垣市、日本トライアスロン連合(J T U)) 沖縄テレビ放送、日刊スポーツ新聞社)

定員 ワールドカップ: I T U 推薦選手・J T U 強化指定選手、男女各50~75名前後
 ファミリー・リレー: A組700名、B組リレー100組

距離 制限時間
 ワールドカップ: 51.5km(スイム1.5km・バイク40km・ラン10km)
 ファミリー・リレー: 51.5km(スイム1.5km・バイク40km・ラン10km) / 4時間15分

記者発表 4月9日(金)午後3~4時
 開会式 4月10日(土)午後2~3時

表彰 ワールドカップ: 男女各1~10位
 ファミリー: 総合男女各1~10位、年代別男女各1~3位(20歳未満、20歳代、30歳代、40歳代、50歳以上)
 リレー: 1~3位

テレビ放映 沖縄テレビ放送(4月18日(日)午後1時50分~3時5分)
 NHK-BS1(全国)・海外90カ国放送予定

START

ワールドカップ 女子 午後1時・男子 午後3時45分
 ファミリー・リレー 午前8時~ウェーブスタート

問い合わせ 〒907-0012 沖縄県石垣市美崎町14 石垣市役所内 トライアスロン大会事務局 TEL.09808-2-1212 FAX.09808-2-1911



GAMAGORI

'99 N T Tトライアスロンジャパンカップ第2戦 4月18日(日)
 '99 I T Uトライアスロン・ワールドカップ第2戦蒲郡大会

トライアスロンの未来を予感させる「観る」ための設定が随所になされている大会。波や潮の流れに影響されない蒲郡競艇場を2周回するスイム。フラットなバイクコースは7周回。常にメインスタンド前を通過するため、集団走行の駆け引きが見られる。4周回のランもメインスタンド前を通過し、そしてフィニッシュする。競艇場のスタンドからスイム、バイク、ランすべてが見られ、870インチの大型ビジョンでレース展開が手に取るように分かる。'97年に庭田清美選手がここで銀メダルを獲得したのは、記憶に新しいところ。二度目のメダル奪取を目前で実現させたいところ。I T U公認大会。

- 主催 '99IT Uトライアスロン・ワールドカップ蒲郡大会組織委員会(蒲郡市、日本トライアスロン連合(J T U)中日新聞社、東海テレビ放送) I T U推薦選手・J T U強化指定選手、男女各50~75名前後
- 定員
- 距離 制限時間
51.5km(スイム1.5km・バイク40km・ラン10km)
- 記者発表 4月16日(金)午後6時~6時30分
- 開会式 4月18日(日)午前10時30分~10時55分
- 表彰 ワールドカップ: 男女各1~10位
- テレビ放映 東海テレビ放送(4月24日(土)午後1時35分~2時50分)
NHK-BS1(全国)・海外90カ国放送予定



START

ワールドカップ

女子 午前11時・男子 午後1時45分

問い合わせ 〒443-0048愛知県蒲郡市緑町3-69 蒲郡市体育館内 大会事務局 TEL.0533-69-3241 FAX.0533-69-3243



AMAKUSA

'99NTTトライアスロンジャパンカップ第3戦 5月16日(日)
 '99第8回ASTCアジア・トライアスロン選手権日本代表選手選考会
 第15回天草国際トライアスロン大会

日本で最初に51.5kmのトライアスロンが行われたのがここ。ITU国際大会に指定され、ワールドポイントが得られるため、海外の有力選手が多数参加する。スイムは本渡海水浴場の折り返し500mのコースを3周回。海水浴場を出て、北上し苓北町の坂瀬川を折り返すバイクはシーサイドコース。雲仙天草国立公園の風景が美しい。エリートはドラフティングが公認。ランは市内の広瀬公園を2周回し、本渡海水浴場へとフィニッシュする。7月4日に韓国のソクチョウで行われるアジア・トライアスロン選手権への日本代表選手を決めるレースでもある。

主催 熊本県本渡市、本渡市教育委員会、日本トライアスロン連合(JTU)
 定員 エリート: JTU強化指定選手、主催者推薦選手男女各70名前後
 ジュニア・エイジグループ: 800名
 距離 制限時間
 エリート: 51.5km(スイム1.5km・バイク40km・ラン10km)/男子2時間30分・女子2時間40分
 ジュニア・エイジグループ: 51.5km(スイム1.5km・バイク40km・ラン10km)Y3時間30分
 記者発表 5月15日(土)午後4時~4時30分
 開会式 5月15日(土)午後5時~5時40分
 表彰 エリート: 男女1~10位
 ジュニア・エイジグループ: ジュニア男女各1~6位、年代別男女各1~3位(20~24歳、25~29歳、30~34歳、35~39歳、40~44歳、45~49歳、50歳以上)
 テレビ放映 テレビ熊本(九州ネット)・フジテレビ



START

エリート 男子 午前7時30分・女子 午前8時
 ジュニア・エイジグループ 午前8時45分~ウェーブスタート

問い合わせ 〒863-8631熊本県本渡市東浜町8-1 本渡市役所内トライアスロン事務局 TEL.0969-23-1111 FAX.0969-24-2744

TOKYO

'99 NTTトライアスロンジャパンカップ第4戦 7月18日(日) 第2回日本スプリントトライアスロン選手権東京港大会

2回目を迎える日本スプリントトライアスロン選手権は、東京23区内でスイムに海を使って行われる唯一のレース。レインボーブリッジを背景に、お台場で行われるこの大会は、シドニー大会にも匹敵する美しさがある。スイム750m、バイク20km、ラン5kmで、総合距離は25.75kmとオリンピックディスタンスの半分。スイムは375mのコースを2周、6周回のバイク、3周回のランと、スピードあふれる争いが目前で展開される。スタートからフィニッシュまで駆け引きの連続。一気に走りきる力と、レースを読む戦術眼が試されるレース。新人や若手の活躍も見られる大会だ。ドラフティング公認。



主催 '99東京港国際トライアスロン実行委員会(東京都、日本トライアスロン連合(JTU)、東京新聞社)
定員 エリート・ジュニア:JTU強化指定選手男女各50名前後
距離 制限時間
エリート・ジュニア:25.75km(スイム750m・バイク20km・ラン5km)
記者発表 未定
開会式 7月18日(日)スタート前(予定)
表彰 エリート:男女各1~6位
ジュニア:男女各1~3位
テレビ放映 調整中

JTUスプリントトライアスロンシリーズ

対象大会:第1戦'99日本スーパーズプリントトライアスロン第1戦(福岡・7/12)、第2戦第2回日本スプリントトライアスロン選手権東京港大会、第3戦'99日本スーパーズプリントトライアスロン第2戦(東京・9/11)
ポイント:1位25点、2位20点、3位15点、4位12点、5位10点、6位9点、7位8点、8位7点、9位6点、10位5点
特典:上位10位以内は、2000年度JTU強化指定C獲得

START

エリート・ジュニア 未定

問い合わせ 〒100-0011千代田区内幸町2-1-4 東京新聞スポーツ事業部 東京港国際トライアスロン係 TEL.03-3503-4855 FAX.03-3503-1438



NAGARAGAWA

'99 N T Tトライアスロンジャパンカップ第5戦 8月8日(日) 第5回日本トライアスロン選手権長良川大会 第14回長良川国際トライアスロン大会

昨年に引き続き日本選手権はこの長良川大会。長良川を往復するスイムは、河口堰ができて流れの影響は少ないが水温は30度前後と高い。バイクは、長良川堤防周辺を2周回するフラットで直線の多いスピードコース。ランは河川敷のコースを2周回。バイク、ランともに、河川敷の照り返しをまともに受ける。3種目とも、気候との戦いも重要な要素。アスリートとしての体力、テクニック、精神力が試されるレースだ。大会当日のテレビ放映は日本で唯一。ドラフティング公認。ITU国際大会に指定され、海外から多数の選手が参加する。

- 主催** 岐阜県海津町、中日新聞社、国営木曾三川公園整備運営協議会、日本トライアスロン連合(J T U)
- 定員** 日本選手権：130名(含男女)
長良川国際：470名
- 距離** 制限時間
日本選手権：51.5km(スイム1.5km・バイク40km・ラン10km) / 男子2時間15分・女子2時間35分
長良川国際：51.5km(スイム1.5km・バイク40km・ラン10km) / 3時間30分
- 記者発表** 8月7日(土)午後(予定)
- 開会式** 8月7日(土)午後4時
- 表彰** 日本選手権：男女各1~10位
長良川国際：総合男女各1~10位、年代別男女各1~3位(16~19歳、20~24歳、25~29歳、30~34歳、35~39歳、40~44歳、45~49歳、50歳以上)
- テレビ放映** 東海テレビ放送(当日放送)



START

日本選手権 男子 午前11時40分・女子午後12時55分
長良川国際 午前9時30分

問い合わせ 〒503-0695岐阜県海津郡海津町高須515 海津町役場内 大会事務局 TEL.0584-53-1111 FAX.0584-53-2170



MURAKAMI

'99NTTトライアスロンジャパンカップ第6戦 9月26日(日)
 '99ASTCトライアスロン・アジアカップ村上大会
 '99村上国際トライアスロン大会

ジャパンカップの覇者が決まる大会。昨年は、スペイン勢がワールドポイントを狙って参戦、日本勢は苦杯をなめたが、今年もITU国際大会に指定され、日本選手、海外選手の戦いが見られる。スイムは、瀬波温泉海水浴場のテトラポッド内を海岸と平行に泳ぐ、750mを折り返すコース。意外に波や潮の影響を受ける。日本海の景勝地笹川流れへの往復バイクコースはアップダウンが連続している。ドラフティングはもちろん公認。ランは城下町を走り、一度フィニッシュ脇を通過して戻るコース。シーズンの終盤であり涼しくなる時期だけに、選手のパフォーマンスもベストの状態だ。

主催 岩船地域広域事務組合、日本トライアスロン連合(JTU) 日刊スポーツ新聞社
 定員 アジアカップ: ASTC加盟国推薦選手・JTU強化指定・主催者推薦選手男女各30~50名前後
 村上国際: 800名
 距離 制限時間
 アジアカップ: 51.5km(スイム1.5km・バイク40km・ラン10km)/未定
 村上国際: 51.5km(スイム1.5km・バイク40km・ラン10km)/3時間30分
 記者発表 9月25日(土)午後(予定)
 開会式 9月25日(土)午後(予定)
 表彰 アジアカップ: 男女各1~10位
 村上国際: 総合男女各1~10位、年代別男女各1~3位(15~19歳、20~24歳、25~29歳、30~34歳、35~39歳、40~44歳、45~49歳、50歳以上)
 テレビ放映 新潟総合テレビ



START

アジアカップ 男子 午前9時45分・女子 午前10時
 村上国際 午前10時20分

問い合わせ 〒958-0837新潟県村上市三之町13-25 村上市体育館内 大会事務局 TEL.0254-53-3399 FAX.0254-52-6154

その他主要レース

主催・共催大会

- 3月 21日 第1回日本ウィンタートライアスロン選手権トマム大会（北海道）
 5月 30日 アクアスロン（福岡）
 7月 11日 '99日本スーパースプリントトライアスロン第1戦（福岡）
 8月 全国高校トライアスロン大会（埼玉）
 9月 5日 第3回日本ロングディスタンストライアスロン選手権佐渡大会
 佐渡国際トライアスロン大会（新潟）
 9月 11日 '99日本スーパースプリントトライアスロン第2戦（東京）
 10月 3日 第2回日本ロングディスタンス・デュアスロン選手権森吉大会（秋田）
 11月 11日 奄美レディストライアスロン（第10回記念大会・鹿児島）
 ちびっこ・ジュニア大会（主催・共催大会）
 6月 6日 シーポート北谷トロピカルトライアスロン大会（沖縄）
 7月 11日 キッズトライアスロン大会in国営海の中道海浜公園（福岡）
 7月 25日 わんぱくトライアスロン国際大会（岐阜）
 7月 ジュニアトライアスロンINのうみ大会（開催期日調整中・広島）
 8月 1日 第2回橋本聖子杯ジュニアトライアスロンキャンプ&レースin早来（北海道）
 8月 1日 第5回道後山高原トライアスロンキャンプ&レース（広島）
 9月 12日 JOCジュニアオリンピックカップ'99オールキッズトライアスロン国営昭和記念公園（東京）

印は日程調整中

日本国内トライアスロン大会、トライアスリート人口の推移（1999年3月1日現在）

年度	大会数	愛好者数(人)	競技登録者数(人)
1984	5	500	
1985	20	2,000	
1986	40	10,000	
1987	60	30,000	
1988	80	50,000	
1989	90	70,000	
1990	120	90,000	
1991	150	100,000	
1992	170	150,000	
1993	180	180,000	'94年4月JTU設立
1994	210	200,000	13,300
1995	220	250,000	15,400
1996	200	250,000	16,100
1997	200	270,000	16,000
1998	210	290,000	13,500('98年12月現在)





OTHER RACES

日本学生トライアスロン連合主要大会 9月12日

'99日本学生トライアスロン選手権七尾大会

- ・場所 / 石川県七尾市
- ・距離 / 51.5km (スイム1.5km・バイク40km・ラン10km)

6月 6日 北海道ブロック予選会 (北海道苫小牧市)

6月20日 関東・東京ブロック予選会 (栃木県黒磯市)

7月 4日 東北ブロック予選会 (宮城県七ヶ浜町)

7月11日 北陸・東海ブロック予選会 (愛知県蒲郡市)

7月11日 九州ブロック予選会 (長崎県大島町)

8月 1日 近畿ブロック予選会 (和歌山県美山村)

8月22日 中国・四国ブロック予選会 (広島県三原町)

10月 17日 '99日本学生スプリントトライアスロン選手権・チームタイムトライアル選手権大会
(群馬県板倉町渡良瀬遊水池)

*問い合わせは日本学生トライアスロン連合事務局 (TEL03-5469-5402 FAX03-5469-5403) まで

'98 J T U主催大会テレビ放映実績

大会名/開催日	放送日時	T V局名	放送エリア	視聴率
石垣島(4/12)	4/19(日)16:00~17:20	沖縄テレビ	沖縄県内	10.0
天草(5/17)	5/23(土)14:35~15:50	テレビ熊本	九州全県+C X	4.2
蒲郡(7/12)	7/18(土)13:35~14:50	東海テレビ	東海地区	4.8
東京港(7/19)	7/26(日)16:00~16:50	東京メトロポリタンTV	東京都内	-
長良川(7/26)	7/26(日)13:35~14:50	東海テレビ	東海地区	5.8
村上(9/20)	9/26(土)16:00~16:55	新潟総合テレビ	新潟県内	4.2
佐渡(9/5)	9/19(土)16:00~16:55	NHK BS1	全国	-



J T Uジュニアトライアスロンランキングシステム

対象選手: '99年1月1日現在17~19歳

対象大会: 第15回天草国際トライアスロン大会(5/16) '99日本スーパーベースプリントトライアスロン第1戦(福岡・7/11) 第2回日本スプリントトライアスロン選手権東京港大会(7/18) 第14回長良川国際トライアスロン大会(8/8) '99日本スーパーベースプリントトライアスロン第2戦(東京・9/11) '99ASTCトライアスロン・アジアカップ村上大会(9/26)

ポイント: 1位25点、2位20点、3位15点、4位12点、5位10点、6位9点、7位8点、8位7点、9位6点、10位5点

特 典: 上位10位以内は'99年度JTUジュニア強化指定Cに認定。各大会総合10位以内は'99年度JTUジュニア強化指定Aに認定

オリンピックスポーツ・トライアスロン

トライアスロンは、2000年シドニー・オリンピックの正式競技に採用されることが決まった1994年の夏以来、戦い方にさまざまな変化を見せてきた。

最後まで耐えて、生き残ったものが勝つという、トライアスロンがはじまった当初のスタイルは陰を著め、スイムが強い選手はスイムで逃げ、バイクが強い選手はバイクで先行し、ランが強い選手は最後の逆転に勝負を掛けるという、各選手がもつ長所を活かした戦いが展開されてきた。

そして歴史に残るメダリストを目指した選手の戦いは、'98年シーズンからさらに激化したものとなった。それは、自分の最高のパフォーマンスを最大限に引き出して勝つという方法。最後のランに勝負をかける選手でも、ほかの種目を切磋琢磨してレースに臨む。スイムからとばして逃げ切ろうとする選手は、苦手なランに磨きをかけてエスケープを完璧なものにする、などだ。その結果、レースはさらに高

速化し、スタートからフィニッシュまで競り合いの連続が見られることになった。それが99年のシーズンはどう変わるのか、大いに興味もてる。

世界中の注目を集めるシドニー・オリンピックは2000年の9月15日（金）に開会式が行われる。その翌日16日（土）に女子が、17日（日）に男子のレースが行われる。スタート時刻はともに午前8時となっている。開会式翌日だけに、世界中が注目するだろう。

オリンピックのレースには、男女とも50名ずつのアスリートが参加できる。その参加基準は複雑だ。ITUワールドカップおよび世界選手権、地域選手権、国際大会によって得られる個人ポイントを国別に集計したナショナルランキングがある。この上位6カ国には3名ずつ、7位から13位の国には2名ずつ、14位以下の国には1名ずつの枠が与えられる。この方法で39名を選び、さらに大陸別選考で8名の枠が用意される。ホスト国のオーストラリアには





別に1名、I O Cのワイルドカードで2名。これで50名となる。また、国別で最大3名までと規定されている。

まず日本は、最大の3名枠を確保したいところ。'98年末現在、女子は4位、男子は8位とそれぞれ3名と2名の位置にいる。

日本選手は、ITUワールドランキング女子14位に庭田清美(シャクリー・F I L A ・ G T ・ グリーンタワー/千葉県連合) 17位に細谷はるな(ニデック/愛知県協会) 男子19位に小原工(チームテイケイ/鳥取県協会) が世界を追いつける。この3名に続く選手層も厚みを増してきている日本は、シドニーでのメダルを確実に射程圏内に捉えているといえる。

20世紀が生んだ究極のスポーツ・トライアスロンは、世界では120以上の国と地域で普及し、ITUワールドカップや世界選手権の放映が世界90カ国以上、3億5000万世帯で視聴されている。日本では愛好者は29万人、200を超える大会が行われている。

'74年、アメリカのカリフォルニア州サンディエゴ市ではじめて行われたトライアスロンは、すでにメジャースポーツの一つに数えられるまでに成長したのだ。

ITU ナショナルランキング (1998年10月10日現在)	
女子	男子
1 オーストラリア	1 オーストラリア
2 フランス	2 ニュージーランド
3 アメリカ合衆国	3 フランス
4 日本	4 イギリス
5 ニュージーランド	5 スペイン
6 オランダ	6 チェコ
7 ハンガリー	7 スイス
8 ベルギー	8 日本
9 スペイン	8 メキシコ
10 カナダ	10 ドイツ
11 コスタリカ	11 アメリカ合衆国
12 スイス	12 オランダ
13 イギリス	12 ベネズエラ



歴史的なメダルを目指して

実力が試されるワールドカップ

シドニー・オリンピックに直結しているワールドカップは、'99年も10戦前後で争われる。シドニー・オリンピックを来年に控え、2000年の5月まで少しでも高いポイントを獲得したいところ。

昨年は、女王エマ・カーニー（オーストラリア）が不調で、トップの座を同僚のミケリー・ジョーンズ（オーストラリア）に譲った。男子は年毎にトップが交代。好調を維持したハミッシュ・カーター（ニュージーランド）が後半追い上げ、ランキング1位を維持している。

新しい顔ぶれは、女子のロレッタ・ハロップとジョアン・キングのオーストラリア勢。男子では、クレイグ・ウォルトン、ベテランのグレッグ・ウェルチといったやはりオーストラリア勢が気を吐き、自国での歴史的な初メダルに期待をかけた。

南半球の優位は変わらないが、ヨーロッパ各国も強化に力をいれているだけに、今年もおもしろいレースが見られそうだ。

対する日本選手は、庭田清美（シャクリー・FILA・GT・グリーンタワー／千葉県連合）が14位と順位をあげ、17位に入った細谷はるな（ニデック／愛知県協会）も進境著しい。男子では、小原工（チームテイケイ／鳥取県協会）が19位と追いつけている。



上記の3人にあわせ、小梅川雪絵（チームテイケイ／大阪府協会）中西真知子（チームNTT／大阪府協会）福井英郎（シャクリー・FILA・GT・グリーンタワー／千葉県連合）のナショナルチームのメンバーを中心に、今年も世界に挑戦する。レースが年々スピード化するなかで、いっそうの好成績が望まれる。

'99ITUワールドカップ(51.5km)

4月 11日	石垣島(日本)
4月 18日	蒲郡(日本)
5月 2日	シドニー(オーストラリア)
6月 13日	フランドル(ベルギー)
6月 20日	モナコ
8月 8日	ティシュアウィパローシュ(ハンガリー)
8月 15日	コーナーブルック(カナダ)
8月 29日	ローザンヌ(スイス)
9月 4・5日	ミュンヘン第11回世界選手権(ドイツ)
10月 10日	カンクン(メキシコ)
11月 7日	ヌーサ(オーストラリア)

99年2月24日現在

* 数大会調整中

ITUワールドポイント

ワールドカップ			世界選手権		地域選手権	国際大会
順位	1999	2000	1999	2000	1999	1999
1	1000	1500	1500	2000	500	250
2	800	1200	1200	1600	400	200
3	700	1050	1050	1400	350	175
4	600	900	900	1200	300	150
5	500	750	750	1000	250	125
6	400	600	600	800	200	100
7	350	530	525	700	170	85
8	300	450	450	600	150	75
9	250	380	375	500	130	65
10	200	300	300	400	100	50
11	180	270	270	360	90	
12	160	250	240	320	80	
13	150	230	225	300	70	
14	140	220	210	280	60	
15	130	200	195	260	50	
16	120	180	180	240		
17	110	170	165	220		
18	100	150	150	200		
19	90	140	135	180		
20	80	120	120	160		
21-25	60	90	90	120		
26-30	50	80	75	100		
31-40	40	60	60	80		
41-50	30	50	45	60		



国際大会をはじめ、多彩な世界選手権

'98年のシーズンから、ITUワールドランキングに有効なポイントが取れるレースが増えた。それが、ITUインターナショナルイベント（国際大会）この国際大会では、10位までにポイントが与えられる（表参照）。国際大会は世界各地で開催され、世界中のアスリートが移動に有利な、そしてポイントが獲得できる可能性の高い大会が選べる。日程調整さえつければ、多くの大会でポイント獲得にチャレンジできる。

また、大陸別の地域選手権でもワールドポイントが獲得できる。

ITUでは、その他の大会も多く主催している。ロングディスタンス・トライアスロンやデュアスロン、ウインター・トライアスロン、アクアスロンなどがそれ。四季を問わず、場所を選ばずにできる複合スポーツ・トライアスロンの底辺の拡大に、こうした大会の存在が欠かせない要素となっている。

'99ITUインターナショナルイベント (51.5 km)

2月 14日	アントファガスタ (チリ)
3月 6日	ミコソス (南アフリカ)
3月 13日	ヴァレ・デ・プラボ (メキシコ)
3月 14日	マル・デル・プラタ (アルゼンチン)
4月 25日	タンパ/セントピーターズバーグ(アメリカ)
4月 25日	アンツィオ (イタリア)
4月 25日	ヌーメア (ニューカレドニア)
4月 25日	サン・パウロ (ブラジル)
5月 16日	天草 (日本)
5月 16日	フォルテ・デ・マルミ (イタリア)
5月 22日	コリア (スペイン)
5月 23日	サバー (マレーシア)
5月 30日	ミラノ (イタリア)
5月 30日	ツンデルト (オランダ)
6月 5日	グアム (アメリカ)
6月 5日	マルセイユ (フランス)
6月 6日	レイク・ハバス (アメリカ)
6月 6日	エヒテルナハ (ルクセンブルク)
6月 19日	ブラハ (チェコ)
6月 27日	コナ (ハワイ・アメリカ)
7月 3日	ロス・カボス (メキシコ)
7月 10日	グラウス (スペイン)
8月 8日	長良川 (日本)
8月 22日	ギヨール (ハンガリー)
9月 11日	ブレノ (チェコ)
9月 11日	パシフィックグローブ (アメリカ)
9月 26日	村上 (日本)
10月 24日	オランプラ (ブラジル)
11月 13日	イクスタバ (メキシコ)
12月	Zhuhai (中国・マカオ)

99年2月24日現在

* 数大会追加調整中



'99 主要トライアスロン大会 (含む地域選手権)

3月 14 日	ウインター・トライアスロン世界選手権 (イタリア・パルドネッキア)
3月 27 日	アフリカ選手権 (ジンバブエ・トラウトベック)
4月 16・17 日	中央アメリカ・カリビアン選手権 (エル・サルバドル)
5月 9 日	オセアニア選手権 (オーストラリア・ムールーラバ)
6月 6 日	ロングディスタンス・デュアスロン世界選手権 (スイス・ゾーフィンゲン)
7月 3・4 日	ヨーロッパ選手権 (ポルトガル・マデira)
7月 10・11 日	ロングディスタンス・トライアスロン世界選手権 (スウェーデン・セイテル)
7月 24 日	パン・アメリカンゲームズ (カナダ・ウィニペグ)
10月 16・17 日	デュアスロン世界選手権 (アメリカ・ハンターズビル)
10月 31 日	アクアスロン世界選手権 (オーストラリア・ヌーサ)

99年2月24日現在

* その他地域選手権調整中

世界の頂点に立つのは誰だ

今年で11回を数えるITUトライアスロン世界選手権は、選手の真の実力が試される場だ。'99年は、9月4、5日の日程でドイツのミュンヘンで行われる。

この世界選手権には世界各国のトップ選手が、照準を合わせて参加する。それだけに、オリンピックを彷彿とさせるレースが展開されることだろう。

競技距離はトライアスロン・ディスタンスの51.5km。'98年のローザンヌ大会では、新

ITU世界選手権歴代優勝者

'89年 第1回大会 フランス・アビニオン	女子	エリン・ベーカー (ニュージーランド)	2時間10分01秒
	男子	マーク・アレン (アメリカ)	1時間58分46秒
'90年 第2回大会 アメリカ・オーランド	女子	カレン・スマイヤーズ (アメリカ)	2時間03分33秒
	男子	グレッグ・ウェルチ (オーストラリア)	1時間51分37秒
'91年 第3回大会 オーストラリア・ゴールドコースト	女子	ジョアン・リッチー (カナダ)	2時間02分04秒
	男子	マイルス・スチュワード (オーストラリア)	1時間48分20秒
'92年 第4回大会 カナダ・ムスコカ	女子	ミケリー・ジョーンズ (オーストラリア)	2時間02分08秒
	男子	サイモン・レシング (イギリス)	1時間49分04秒
'93年 第5回大会 イギリス・マンチェスター	女子	ミケリー・ジョーンズ (オーストラリア)	2時間02分08秒
	男子	スベンサー・スミス (イギリス)	1時間51分20秒
'94年 第6回大会 ニュージーランド・ウェリントン	女子	エマ・カーニー (オーストラリア)	2時間03分19秒
	男子	スベンサー・スミス (イギリス)	1時間51分04秒
'95年 第7回大会 メキシコ・カンクン	女子	カレン・スマイヤーズ (アメリカ)	2時間04分58秒
	男子	サイモン・レシング (イギリス)	1時間48分29秒
'96年 第8回大会 アメリカ・クリーブランド	女子	ジャッキー・ガラガー (オーストラリア)	1時間50分52秒
	男子	サイモン・レシング (イギリス)	1時間39分50秒
'97年 第9回大会 オーストラリア・パース	女子	エマ・カーニー (オーストラリア)	1時間59分22秒
	男子	クリス・マコーマック (オーストラリア)	1時間48分29秒
'98年 第10回大会 スイス・ローザンヌ	女子	ジョアン・キング (オーストラリア)	2時間07分25秒
	男子	サイモン・レシング (イギリス)	1時間55分30秒



鋭のジョアン・キング（オーストラリア）が苦手のスイムを克服して初優勝を飾った。男子は、ベテランのサイモン・レンジ（イギリス）が一番での強さを発揮して4度目のタイトルをさらった。

世界選手権には男女とも、100名前後の選手が出場を許される。ITUワールドランキングから50名、アフリカ、ヨーロッパ、オセアニア、アジア、北米、中米、南米の大陸別選考会で勝ち抜いた選手、そしてITUのワールドカードである。

日本は毎回男女各6名前後の選手を送っているが、最高成績は第7回カンクン大会での小原工の13位。そろそろ、表彰台が狙いたいところだ。「世界選手権が本当の実力を示す場」とどの選手も口を揃えているとおり、世界の最高峰に位置するレースだ。

目が離せないアジアカップ

'99年のアジアカップは、ワールドポイントが獲得できるレースが三つとなった。また、ITU世界選手権への出場権が得られるアジア選手権は、日本選手にとってはとても重要な

レースとなる。

アジアトライアスロン同盟（ASTC）に加盟しているのは、現在13の国と地域。'91年に発足したASTCは、'92年よりアジア選手権を行ってきた。アジアカップシリーズは今年で5年目を迎える。

アジアカップでもシリーズチャンピオンが決まる。'94年は女子スー・ロス（香港）男子イアン・レイソン（香港）'95年は女子、男子とも'94年に同じ、'96年は、女子にワン・ダン（中国）男子に山口博久（チームエブソン/埼玉県連合）'97年は女子ワン・ダン（中国）男子リーチー・ウー（中国香港）'98年は、女子細谷はるな（ニデック/愛知県協会）男子小原工（チームテイケイ/鳥取県協会）がチャンピオンとなった。

'99 アジアカップシリーズ

5月 9日	シンガポール
5月 23日	サバー（マレーシア）
6月 6日	スピックベイ（フィリピン）
7月 4日	第8回アジア選手権ソクチョウ大会（韓国）
9月 26日	'99村上国際トライアスロン大会（新潟）

99年2月24日現在

* 数大会追加調整中

印はITUワールドポイント対象レース



98年ITU世界選手権ローザヌ大会日本代表選手団（於ホテルローザヌパレス）

競技規則について (J T U 競技規則より抜粋)

1. ルールのあらまし

- ① ルールの主題は、スポーツマン精神、公正で安全な競技、自分で守る健康と安全、そして一般良識である。
- ② 完走するために、コースを知り、そこに適用されるルールと交通規則を守る。
- ③ ドーピングは、すべてのオリンピック競技と同様に禁止。カゼ薬や栄養剤にも注意。
- ④ ドラフトゾーンやトランジション・スペースなど「競技スペース」を守る。特別ルールを除き、他の競技スペースには入れない。
- ⑤ 競技者の資格は、J T U 加盟団体に登録。日本学生トライアスロン連合へは直接登録。

2. アスリートの心得

- ① 大会は予測できないことの連続である。波や風、曇り寒さ、観客や車の飛び出し、見えにくいぼみ。危険を察知し、適切な判断で競技する。
- ② 日頃の練習と健康管理。早めの水分補給。競技はマイペースで。リタイアの勇気を持つ。

3. 一般交通から学ぶ

- ① 競技は車の運転と同じ (競技者は運転手)、審判員は警察官。大会上訴委員会は裁判所である。前方注意。車間距離とキープレフト。追越し車線。悪路や渋滞での減速。徐行と加速。ゆずりあいの精神で安全運転。
- ② 危険走行への警笛。追越しは、後方確認、合図、車線変更で一気。左折の合図で確認し左車線に戻る。
- ③ 違反での停止命令と罰則。事故の届け出。裁判での事情説明。保険の適用。ケガ人発見での救助活動。大会と同じである。

4. 練習中の注意

- ① ヘルメットは必ずかぶる。
- ② 練習中の事故をなくすために、並んで走らない、信号は絶対に守る。
- ③ 競技自転車と一般スピードの違い、

運転手を迷わせ、事故の原因となる。

5. ウェアと用具

- ① スイムでは、スイムキャップ、ゴーグルそしてウェットスーツを着用。バイクでは、規定のヘルメットと用具。ランではシューズ着用。仮装は適当でない。
 - ② レースナンバーは、四隅を留める。全面が見えるよう気を配る。折り曲げ、変造は禁止。ナンバーベルト使用では、レースナンバーが腰から上にあればOK。
 - ③ サングラスは、透明度の高いものがよい。トンネル内、雨天時の視力低下に注意。
 - ④ 規定のボディナンバーを記入。顔や体に文字を書き込まない。クリム類は透明のものを使用。タトゥーシールは禁止。
 - ⑤ 音響・通信機器の携帯は禁止。一般的でない用具は、事前に相談する。
 - ⑥ パーティでは、帽子を脱いで、シューズ、ユニフォームで出席する。
- ## 6. スムーズな競技とリタイア
- ① 危険・妨害行為は禁止。相手の優先コースを判断し、スムーズで安全な流れを守る。
 - ② リタイアは、スタッフに伝え、大会本部にも連絡する。
- ## 7. スイム (水泳)
- ① コースブイの外側を、ぶつからないように泳ぐ。ブイにつかまって小休止ができる。ブイをつかんでの泳ぎは禁止。
 - ② 救助の合図は、「競技を停止し、片手を頭の上で振り、声を出して救助を求める」。水上では救助に時間がかかることを忘れぬ。
 - ③ ウェットスーツは推奨される。低温や波のあるときは着用義務となる。
- ## 8. トランジションエリア

- ① 用具を交換する、競技コースの一部。エリア内は乗車禁止。ペダル片足走行も禁止。
 - ② ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締める。フィニッシュ後は、バイクを掛けてからストラップを外す。
 - ③ 前輪の先端が、「乗車ラインを越えてから乗る」「降車ラインを越える前に降りる」。
- ## 9. バイク (自転車)
- ① バイクは体に合ったもの、ドロップバーが基本。I T U エリート部門では、エアロバーが、ブレーキレバーの先端をつないだ線を越えないものと規定。一般にも尖った先端は改善される方向にある。
 - ② 乗車して競技することが基本。押す、持ち上げる、担ぐも許可。後続のじゃまにならないよう注意する。
 - ③ 規定のヘルメットを深くかぶり、ストラップをあごにかかるように締める。
 - ④ 規制されたコースでも、交通規則を守る。表示看板、コーン、大会スタッフ、警察官の指示に従い競技する。
 - ⑤ 「前方注意・車間距離の確保」は、重要な義務。転倒や急ブレーキ、相手の動きに注意。エアロバーでは、視界が狭まりブレーキが遅れる。
 - ⑥ キープレフト (左側走行：左端から1m、コース幅の左側1/3以内が基準) で競技する。コース右側は追い抜きスペース。
 - ⑦ 追い越しは、後ろを確認し、前走者の右側から。センター寄りの走者には注意を与える。不安があれば「一声掛けて追い越す」と効果的。
 - ⑧ ドラフティング走行・集団走行・併走は禁止。特別レースでのみ許可。
 - ⑨ 近づきすぎたり並んでいると、ストップアンドゴー (S G) ルールが適用される。「警告シグナル レースナンバーのコール ストップ指示」を受けたら、安全確認後、左端に止

まる。降車してバイクを両手で持ち上げる。審判の「ゴー」の合図でレースを再開。タイムペナルティーの適用もある。

<ドラフティングルール>

① ドラフティングは、前走者や車の後ろを風よけにして、案に走ろうとすること。

② ドラフトゾーンは、前輪先端から縦7m(エリート10m)、両サイドに各1.5m、計3mの範囲。車からは35m以上離れる。

③ 自転車は約2m。一般では2台半分、エリートでは4台分の車間距離をあける。

④ ドラフトゾーンへ入れるのは、15秒(エリート30秒)以内に追越せるとき。そして減速が必要なエイドステーション付近、トランジション出入り口、折り返し地点。

<追越しの決まり>

① 安全に素早く追い越せると判断したら、後方確認、右手を挙げ、右側から追い越しに入る。追い越したら、再度後ろを確認。左手を挙げて、キープレフト走行に戻る。

② 追い越し中は、「追い抜く意志を持って、前進している」ように見えなければいけない。ピタリと接近し、静止しているように見えると、規定タイム内でも警告を受ける。

③ 前輪先端が、先行する前輪の先端よりも前に出たときに「追い越した」と見なす。

④ 追い越されたら、すぐ抜き返したり、背後に付いてはいけない。後退しているように見えなければ注意を受ける。15秒(エリート30秒)以内に規定の距離まで下がる。

10. ラン(ランニング)

① 車に気をつけてキープレフトで走る。マイペースで。小休止もできる。

② 追越しは前走者の右側から。一声掛けたと安心。

③ 最後は、フィニッシュラインを走

り抜く。エリートの意図的な同着は失格。同伴、伴走フィニッシュは、事前に許可された大会でのみ認められる。

④ 総合フィニッシュでは、サンングラスをはずす。

11. エイドステーション

① エイドステーションでは、スピードを抑えて補給を受ける。「左手を水平に挙げ」スタッフにお願いする。

② スタッフは、止まって渡し、走らない。受取りの失敗は、競技者の責任となる。

③ エイドステーション以外での支援は禁止。

12. ペナルティー

① 違反や危険が予想されるときは、注意(短音ホイッスルの連続または口頭)を受ける。

② 注意に従わないと警告が出る。「警告音:短音2回の連続。イエローカードまたはフラッグ。レースナンバーのコール」による。

③ ドラフティング違反以外でもSGルールを適用する。ランやトランジションで「ストップ」や「手をあげての合図」があったら止まる。指示を受け、再スタート。ポトルの不当投棄やレースナンバーの乱れでも適用される。

④ 失格の宣告は、「警告音:長音の連続。レッドカード提示またはフラッグを振る。レースナンバーをコールする」のいずれかによる。宣告なしでも失格がありえる。

⑤ 競技中に失格を出されても、状況がよくなれば続けて競技できる。罰則が免除されるものではないが、レース後、審判長に事情説明することができる。

⑥ ペナルティーの最終裁定は、審判長が行い、「公式掲示板」で告知する。

13. 抗議と上訴

① 抗議は、競技者が代理人が、審判長に口頭で行う。納得できないとき

は、書面で。ドラフティング、危険行為、スポーツマン精神に反する言動の判定には抗議できない。

② 抗議できる時間は、記録について30分以内。他競技者、役員、運営について、フィニッシュ後60分以内。競技コースについては、スタート24時間以上前に行く。

③ 上訴は、審判長裁定に再考を求めるために行う。上訴者は、供託金を納め書面を提出する。大会上訴委員会の聴聞会で説明し、裁定を受ける。供託金は、上訴が受け入れられたら返される。裁定に不服ならば、理事会や総会に上訴することができる。

④ 注意や警告を受けたら、終了直後、審判長への事情説明をすることを奨励する。自らのルール違反についても弁明することができる。

14. 審判員(マージャー)

① ルールを忘れてしまいそうになったとき、審判員は水先案内人になる。審判員の審判は競技者である。気づいたことは、大会を管理する競技団体に報告する。

15. ボランティアスタッフ

① 大会はボランティアが支えている。不慣れなためにうまくいかないことがあるかもしれない。それでもニコリ、「ありがとう」といえたら、声援はもっと大きくなるに違いない。「来年もまた来てください」といわれるアスリートになってほしい。審判員も同じことである。

16. 大会の成功と継続のために

① 大会では、運営も審判も難しい。選手には「大会を楽しむ権利と運営に協力する義務」がある。シーズンが終わって福刈りのときにポトルが出てきたら、大会は続かない。

② 「競技者の思いを主催者に伝える方法を明確にし、大会の改善につなげたい。競技者と主催者がたがいに納得し観客も楽しめる大会でありたい。

トライアスロン基本用語

トライアスロン

ラテン語の3を表す「トライ」と、競技を意味する「アスロン」の合成語。スイム（水泳）、バイク（自転車）、ラン（ランニング）の3種目を一人の競技者が連続して行う。1974年にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴではじめて競技として行われた。種目をスキーやマウンテンバイクに置き換えた3種目で構成される競技（ウインタートライアスロンなど）もある。

トライアスリート

トライアスロンに参加する、あるいは参加を目指す選手のこと。

デュアスロン

トライアスロンの第1種目スイムをランに置き換え、ラン・バイク・ランの2種目で行う競技。「デュ」はラテン語の2を表す。広義ではトライアスロンに含まれる。

デュアスリート

デュアスロンに参加する、あるいは参加を目指す選手のこと。

アクアスロン

スイムとランで行われる競技。広義ではトライアスロンに含まれる。

トライアスロンディスタンス

スイム1.5km、バイク40km、ラン10kmの合計51.5kmのトライアスロンの名称。2000年のシドニー・オリンピックもこの距離で争われる。現在、世界のトライアスロンの80%強はこの距離で行われている。

エリート

トップ選手の呼称。一般選手と区別して競技をスタートすることも多い。

エイジグループ

年齢別（5歳ごと）に競技を行い、表

彰するためのグループ分けを示す。エリートの対向として、一般選手をエイジグループと呼ぶこともある。

レジストレーション

選手登録のこと。バイク、バイクヘルメット、ウェットスーツなどの用具の検査も同時に行われる。

カーボパーティ

正式にはカーボローディングパーティ。トライアスロンのような持久運動に多く必要な炭水化物（カーボ）を蓄積するための食事会を意味するが、大会前夜のパーティを示すことが多い。

レースナンバー

大会ごとに、選手に付与される識別番号。ウェアに付けるこの番号を書いたもの（紙および布製）をナンバーカードとも呼ぶ。ゼッケンという呼称は使わない。

マーシャル

競技全体を司る審判。競技中の不正行為を監視し、注意、警告、ペナルティを与える。競技終了後にマーシャル会議を行い、不正行為のあった選手に注意、警告、ペナルティを与えることができる。

スタート

トライアスロン競技の始まりを意味する。バイクスタート、ランスタートのように、各種目の始まりを示す場合もある。

ウェーブスタート

スタートの際に、カテゴリー、競技力、年齢などにより選手をグループ化し、時差を設けてスタートさせる方法。スタート直後の混雑への安全対策に有効。

エイドステーション

競技コース途中に設営され、水分、果物、軽食などが供給される。大会が用意したスタッフから手渡されることが一般化している。

トランジション

スイムからバイク、バイクからランへと競技種目を転換すること。ここでの速さがタイムに影響するため、トライアスロンの「第4種目」といわれることもある。

トランジションエリア

トランジションを行う場所。コースの一部であり、選手以外の立入は厳しく制限される。バイクラック、トイレ、更衣テント、エイドステーションなどが設置される。

ドラフティング

おもにバイク競技で先行する選手の直後を走り、スリップストリームを利用し、また先行する選手を風よけとして、競技を有利に展開する戦術。エイジグループでは禁止されているが、ITUワールドカップなどのエリートレースでは公認される場合が多い。スイム、ランではエイジグループ、エリートとも禁止されない。

ストップアンドゴー(SG)ルール

ドラフティング禁止のバイク競技中、ドラフティングなどの不正行為があった場合マーシャルにより宣告されるペナルティ。宣告された選手は直ちに安全な路肩で停止し、降車後バイクを両手で持ち上げ、マーシャルの「ゴー」の合図を得て競技に復帰することができる。

フィニッシュ

競技終了のこと。総合フィニッシュのほか、スイムフィニッシュ、バイクフィニッシュなど、種目ごとでも用いられる。ゴールという呼称は使わない。

1998年 レースリザルト

Race Results

日本トリアスロン連合主催・共催大会

NTTトリアスロンジャパンカップ第1戦
'98ITUトリアスロン・ワールドカップ
第1戦石垣島大会(4/12)
競技距離51.5km

女子

1	エマ・カーニー (AUS)	2:03:24
2	ジャッキー・ガラガー (AUS)	2:05:05
3	ミケリー・ジョーンズ (AUS)	2:05:48
10	庭田 清美 (千葉)	2:07:16
29	小梅川雪絵 (大阪)	2:12:17
33	細谷はるな (愛知)	2:14:24
36	大河原浩美 (愛知)	2:16:26
37	半田 恵理 (学生)	2:17:02
40	中西真知子 (学生)	2:18:35
41	志垣 めぐみ (宮崎)	2:18:56

男子

1	グレッグ・ウェルチ (AUS)	1:50:57
2	ジェイミー・ハント (NZL)	1:51:00
3	クリス・ヒル (AUS)	1:51:13
28	福井 英郎 (千葉)	1:55:40
41	山本 淳一 (愛知)	1:58:04
43	小嶋 基史 (愛知)	1:58:30
49	小原 工 (鳥取)	2:00:09
51	星野 健一 (東京)	2:00:33
52	千葉 智雄 (愛知)	2:01:17
53	永留 誠 (千葉)	2:02:20
56	竹内 鉄平 (学生)	2:04:07

NTTトリアスロンジャパンカップ第2戦
'98ASTCアジア・トリアスロン選手権日本
代表選考大会
'98FISU世界大会トリアスロン選手権日本
代表選手選考会
第14回天草国際トリアスロン大会(5/17)
競技距離51.5km

女子

1	庭田 清美 (千葉)	2:03:33
2	小梅川雪絵 (大阪)	2:04:10
3	細谷はるな (愛知)	2:04:27
4	中西真知子 (学生)	2:06:09
5	大河原浩美 (愛知)	2:07:32
6	サラ・ハロー (NZL)	2:08:05
7	若月 加代 (大阪)	2:08:40
8	枇杷田深雪 (学生)	2:08:43
9	メリッサ・ジョンソン (CAN)	2:08:47
10	井上由佳子 (千葉)	2:08:59

男子

1	星野 健一 (東京)	1:50:28
2	小嶋 基史 (愛知)	1:50:56
3	マイケル・トリーズ (茨城)	1:51:05
4	鈴木 隼人 (東京)	1:51:50
5	小原 工 (鳥取)	1:52:00
6	ブラッド・カーフェルト (AUS)	1:52:21
7	山本 淳一 (愛知)	1:52:24
8	福井 英郎 (千葉)	1:52:40
9	中込 英夫 (愛知)	1:52:45

10	永留 誠 (千葉)	1:53:19
ジュニア女子		
1	島田 陽子 (兵庫)	2:31:54
2	堀 留美 (大阪)	2:32:20
3	浦上 咲枝 (熊本)	2:52:50

ジュニア男子

1	益田 大貴 (東京)	2:01:12
2	和田 浩治 (兵庫)	2:04:43
3	小野 智治 (兵庫)	2:06:06

NTTトリアスロンジャパンカップ第3戦
'98ITUトリアスロン・ワールドカップ
第4戦蒲郡大会(7/12)
競技距離51.5km

女子

1	リナ・ヒル (AUS)	1:58:32
2	ミケリー・ジョーンズ (AUS)	1:59:09
3	ジョアン・キング (AUS)	1:59:13
5	庭田 清美 (千葉)	2:00:28
6	細谷はるな (愛知)	2:01:15
11	小梅川雪絵 (大阪)	2:02:45
19	中西真知子 (学生)	2:05:47
20	大河原浩美 (愛知)	2:07:02
24	坂根 三佳 (京都)	2:08:37
27	吉川 咲 (東京)	2:11:47
28	若月 加代 (大阪)	2:12:30
31	枇杷田深雪 (学生)	2:13:55

男子

1	アレクサンドレマンザン (BRA)	1:48:53
2	ドミトリー・ガーク (KAZ)	1:49:03
3	ハミッシュ・カーター (NZL)	1:49:04
18	小原 工 (鳥取)	1:50:53
23	山本 淳一 (愛知)	1:51:55
25	千葉 智雄 (愛知)	1:52:17
31	福井 英郎 (千葉)	1:53:00
32	星野 健一 (東京)	1:53:01
33	中込 英夫 (愛知)	1:53:02
35	小嶋 基史 (愛知)	1:53:48
41	福島 智和 (千葉)	1:59:25
44	西内 洋行 (福島)	2:04:12

NTTトリアスロンジャパンカップ第4戦
第1回日本スプリントトリアスロン選手権
東京港大会(7/19)
競技距離25.75km

女子

1	庭田 清美 (千葉)	1:01:41
2	ベアトリス・ムトン (FRA)	1:02:17
3	中西真知子 (学生)	1:03:01
4	イオナ・ウィンター (JAM)	1:03:51
5	平中 知子 (東京)	1:04:02
6	坂根 三佳 (京都)	1:04:09

男子

1	マット・リード (NZL)	56:42
2	福井 英郎 (千葉)	56:58
3	グレン・マンガム (USA)	56:59
4	中込 英夫 (愛知)	57:37
5	永留 誠 (千葉)	57:45
6	山口 博久 (茨城)	57:52

ジュニア女子

1	仲野 瑞穂 (学生)	1:04:26
2	リン・シン (CHN)	1:05:18
3	中川 絵理 (愛知)	1:06:03

ジュニア男子

1	宮田 俊介 (東京)	59:30
2	山本 良介 (京都)	1:00:00

3 小野 智治 (兵庫) 1:00:13
NTTトリアスロンジャパンカップ第5戦
第4回日本トリアスロン選手権長良川大会
(7/26)
競技距離51.5km

女子

1	枇杷田深雪 (学生)	2:15:38
2	ジェニー・マン (AUS)	2:15:59
3	仲野 瑞穂 (学生)	2:17:10
4	東山由紀子 (東京)	2:17:23
5	若月 加代 (大阪)	2:17:55
6	カレン・マクボイ (CAN)	2:18:24
7	半田 恵理 (学生)	2:18:30
8	井上由佳子 (千葉)	2:19:07
9	中川 絵理 (愛知)	2:19:39
10	平松 智子 (愛知)	2:20:43

男子

1	星野 健一 (東京)	1:56:06
2	須藤 和男 (兵庫)	1:57:56
3	仁井 晶一 (愛媛)	1:58:57
4	櫻井 紀佳 (学生)	1:59:19
5	北里 信雄 (福岡)	1:59:29
6	田村 嘉規 (京都)	1:59:34
7	池形 成信 (福岡)	1:59:38
8	西内 洋行 (福島)	2:00:13
9	青山 剛 (千葉)	2:00:28
10	宮本 訓寛 (大阪)	2:00:47

NTTトリアスロンジャパンカップ第6戦
'98ASTCトリアスロン・アジアカップ村上
大会(9/20)
競技距離51.5km

女子

1	マリベル・ブランコ (ESP)	2:03:06
2	庭田 清美 (千葉)	2:03:16
3	小梅川雪絵 (大阪)	2:04:40
4	細谷はるな (愛知)	2:05:24
5	大河原浩美 (愛知)	2:06:41
6	中西真知子 (学生)	2:07:23
7	枇杷田深雪 (学生)	2:08:01
8	井上由佳子 (千葉)	2:08:02
9	坂根 三佳 (京都)	2:09:10
10	半田 恵理 (学生)	2:10:33

男子

1	ホセ・バルバノー (ESP)	1:49:02
2	ウェイン・スレーター (AUS)	1:49:17
3	小原 工 (鳥取)	1:49:25
4	エネコ・ヤノス (ESP)	1:49:44
5	福井 英郎 (千葉)	1:49:55
6	山本 淳一 (愛知)	1:50:21
7	エクトル・ヤノス (ESP)	1:51:00
8	小嶋 基史 (愛知)	1:51:30
9	マイケル・スメドレー (USA)	1:52:17
10	マイケル・トリーズ (茨城)	1:52:44

'98ITUロングディスタンス・トリアス
ロン世界選手権佐渡大会(9/5)
競技距離167km

女子

1	リナ・ヒル (AUS)	6:32:09
2	レナ・ボルケス (SWE)	6:37:50
3	志垣めぐみ (宮崎)	6:40:41
7	堀 陽子 (神奈川)	6:59:05
10	山倉 紀子 (東京)	7:03:53
11	竹内 淳子 (長野)	7:04:50

男子

1	ルック・ヴァン・リルデ (BEL)	5:44.06
2	ロブ・バレル (NED)	5:52.32
3	ピーター・サンドバグ (DEN)	5:52.33
14	谷 新吾 (兵庫)	6:07.44
17	北原 信雄 (福岡)	6:12.59
23	藤原 裕司 (栃木)	6:15.44
32	須藤 和男 (兵庫)	6:28.26
33	田村 嘉規 (京都)	6:29.06

3	星野 健一 (東京)	443
4	山本 淳一 (愛知)	409
5	小嶋 基史 (愛知)	363
6	千葉 智雄 (愛知)	226
7	中込 英夫 (愛知)	198
7	マイケル・トリーズ (茨城)	198
9	仁井 晶一 (愛媛)	159
10	永留 誠 (千葉)	139

2	ウィーキ・ホーグザード (NED)	2:00.28
3	ジョアン・キング (AUS)	2:00.54
9	庭田 清美 (千葉)	2:02.39

男子

1	ハミッシュ・カーター (NZL)	1:48.24
2	ドミトリー・ガーク (KAZ)	1:48.53
3	トレント・チャブマン (AUS)	1:49.22
20	小原 工 (鳥取)	1:53.14
32	福井 英郎 (千葉)	1:55.36

'98 I T U トライアスロン・ワールドカップ

第1回日本ロングディスタンス・デュアスロン選手権森吉大会

'98 I T U パワーマン・デュアスロン・ワールドカップ・ジャパン (第7戦・10/4)
競技距離79km

女子

1	ドロリタ・フックスグバル (SUI)	3:10:02
2	デビー・ネルソン (NZL)	3:15:06
3	スザンヌ・ルーファー (SUI)	3:20:04
4	松本 晴美 (岡山)	3:26:09
5	鈴木 純子 (愛知)	3:26.44
6	林 佐知子 (東京)	3:37.06
7	望月 美和 (山梨)	3:43.51
9	室本 好重 (岡山)	3:46.01
9	山崎 理恵 (神奈川)	3:51.54
10	長谷川千代子 (新潟)	3:52.21

男子

1	ステファン・リーゼン (SUI)	2:45:11
2	ウーブ・マース (NED)	2:45:22
3	マイケル・トリーズ (茨城)	2:46:04
4	ローランドバルステット (GER)	2:46:14
5	マルク・シェビジン (GER)	2:47:33
6	ダニエル・クラウ (SUI)	2:50:29
7	ツッピー・スレーター (AUS)	2:51:54
8	柴田 良幸 (岩手)	2:55:15
9	山口 崇 (京都)	2:57:52
10	河原 勇人 (学生)	3:00:35

'98 奄美レディストライアスロン (11/8)

競技距離1.5km

1	東山由紀子 (東京)	2:16:45
2	若月 加代 (大阪)	2:19:21
3	若杉 亮子 (学生)	2:19:25
4	今西 彩乃 (滋賀)	2:25:56
5	東 千歳 (学生)	2:26:18
6	長岡 恵美 (福岡)	2:27:06
7	小久保真紀 (埼玉)	2:28:18
8	中根 桂子 (愛知)	2:28:45
9	野中 美佐 (鹿児島)	2:30:00
10	神田 直子 (埼玉)	2:30:51

'98 J T U ジャパンランキング

女子

1	庭田 清美 (千葉)	571 p
2	小梅川雪絵 (大阪)	442
3	細谷はるな (愛知)	380
4	中西真知子 (学生)	298
5	枇杷田深雪 (学生)	270
6	大河原浩美 (愛知)	260
7	仲野 瑞穂 (学生)	180
8	若月 加代 (大阪)	169
9	東山由紀子 (東京)	160
10	半田 恵理 (学生)	158

男子

1	小原 工 (鳥取)	475
2	福井 英郎 (千葉)	474

第1戦石垣島大会 (4/12)

競技距離51.5km (p23参照)

第2戦シドニー大会 (4/26) 競技距離51.5km

女子

1	ジャッキー・ガラガー (AUS)	2:02:33
2	ロレッタ・ハロップ (AUS)	2:03:17
3	イザベル・ムトン (FRA)	2:03:56
13	小梅川雪絵 (大阪)	2:06:40
14	細谷はるな (愛知)	2:06:52
17	庭田 清美 (千葉)	2:07:13
20	中西真知子 (学生)	2:07:56

男子

1	グレッグ・ウェルチ (AUS)	1:50:31
2	クレイグ・ウォルトン (AUS)	1:50:31
3	グレッグ・ベネット (AUS)	1:51:00
24	小原 工 (鳥取)	1:53:43
48	福井 英郎 (千葉)	1:57:18
51	中込 英夫 (愛知)	1:57:36
55	山本 淳一 (愛知)	1:59:58

第3戦チュリッヒ大会 6/21 競技距離15km

女子

1	ジャッキー・ガラガー (AUS)	1:54:18
2	マグリ・メスマー (SUI)	1:54:45
3	ミケリー・ジョーンズ (AUS)	1:55:17
24	庭田 清美 (千葉)	1:59:18

男子

1	サイモン・レシング (GBR)	1:45:04
2	アンドリュー・ジョーンズ (GBR)	1:45:37
3	ジャン・クリストフ・モンジャール (SUI)	1:45:26
51	福井 英郎 (千葉)	1:51:51

第4戦蒲郡大会 (7/12)

競技距離51.5km (p23参照)

第5戦コーナールック大会 (8/2)

競技距離51.5km

女子

1	ミケリー・ジョーンズ (AUS)	2:08:47
2	マリウ・オーバービー (DEN)	2:09:21
3	ミーケ・シューズ (BEL)	2:09:59
19	庭田 清美 (千葉)	2:20:15
22	細谷はるな (愛知)	2:22:47
28	中西真知子 (学生)	2:27:35

男子

1	クレイグ・ウォルトン (AUS)	1:58:45
2	ヤン・ルーラ (CEZ)	1:59:21
3	ステファン・ボーレ (FRA)	1:59:33
24	福井 英郎 (千葉)	2:03:33

第6戦ディシュアウィパローシュ大会 (8/9)

競技距離51.5km

女子

1	ロレッタ・ハロップ (AUS)	1:58:42
---	-----------------	---------

第7戦カンクン大会 (9/27)

競技距離51.5km

女子

1	ミケリー・ジョーンズ (AUS)	2:02:54
2	ジェーン・カールゴッチ (AUS)	2:04:04
3	ウィーキ・ホーグザード (NED)	2:04:22
10	庭田 清美 (千葉)	2:05:45
18	小梅川雪絵 (大阪)	2:07:28
20	細谷はるな (愛知)	2:07:37
21	中西真知子 (学生)	2:08:11

男子

1	ジルベルト・ゴンザレス (VEN)	1:54:24
2	マーチン・クルナック (CZE)	1:55:16
3	ドミトリー・ガーク (KAZ)	1:55:18
8	小原 工 (鳥取)	1:55:49
52	千葉 智雄 (愛知)	2:03:37

第8戦オークランド大会 (11/1)

競技距離 51.5km

女子

1	ミケリー・ジョーンズ (AUS)	2:00:42
2	ジョアン・キング (AUS)	2:00:48
3	シアン・プリス (GBR)	2:01:25
9	庭田 清美 (千葉)	2:01:47
18	細谷はるな (愛知)	2:03:37
29	中西真知子 (学生)	2:05:40

男子

1	ハミッシュ・カーター (NZL)	1:47:45
2	クリス・ヒル (AUS)	1:47:59
3	クレイグ・ウォルトン (AUS)	1:48:25
14	福井 英郎 (千葉)	1:49:52
35	永留 誠 (千葉)	1:53:32
43	山本 淳一 (愛知)	1:55:22
45	中込 英夫 (愛知)	1:55:58
49	鈴木 隼人 (東京)	1:59:56

第9戦ヌーサ大会 (11/8)

競技距離51.5km

女子

1	ロレッタ・ハロップ (AUS)	1:59:39
2	ローラ・レバック (USA)	2:00:35
3	バーバラ・リンクイスト (USA)	2:00:48
7	細谷はるな (愛知)	2:03:20
18	庭田 清美 (千葉)	2:05:12
26	小梅川雪絵 (大阪)	2:08:04
30	坂根 三佳 (京都)	2:09:41

男子

1	ジルベルト・ゴンザレス (VEN)	1:48:26
2	ハミッシュ・カーター (NZL)	1:48:42
3	クリス・ヒル (AUS)	1:48:48
9	小原 工 (鳥取)	1:50:02
26	永留 誠 (千葉)	1:53:52
28	鈴木 隼人 (東京)	1:54:18
32	中込 英夫 (愛知)	1:54:36

'98 ITUワールドランキング

女子	
1	ミケリー・ジョーンズ (AUS) 6125 p
2	エマ・カーニー (AUS) 5775
3	イザベル・ムトン (FRA) 4600
4	ジャッキー・ガラガー (AUS) 4465
5	エリカ・モルナー (HUN) 4210
6	ロレッタ・ハロップ (AUS) 3955
7	ジョアン・キング (AUS) 3675
8	ミーケ・シュース (BEL) 3635
9	バーバラ・リンクイスト (USA) 3245
10	リナ・ヒル (AUS) 3080
14	庭田 清美 (千葉) 2295
17	細谷はるな (愛知) 2075
44	小梅川雪絵 (大阪) 835
48	中西真知子 (学生) 730
80	大河原浩美 (愛知) 390
82	櫻井 博江 (茨城) 375
102	枇杷田深雪 (学生) 265
111	山崎真理子 (学生) 200
113	若月 加代 (大阪) 195
119	坂根 三佳 (京都) 170
131	仲野 瑞穂 (学生) 125
131	吉川 咲 (東京) 125
141	福山 智代 (学生) 100
152	井上由佳子 (千葉) 90
162	半田 恵理 (学生) 80
175	小林美智子 (静岡) 70
209	野上三代子 (静岡) 35
219	志垣めぐみ (宮崎) 25
男子	
1	ハミッシュ・カーター (NZL) 6825 p
2	ドミトリー・カーク (KAZ) 4995
3	クリス・マコーマック (AUS) 4120
4	グレッグ・ベネット (AUS) 4085
5	クレイグ・ウォルトン (AUS) 3325
6	ジールベルト・ゴンザレス (VEN) 3225
7	クリス・ヒル (AUS) 3085
8	サイモン・レンジング (GBR) 3025
9	グレッグ・ウエルチ (AUS) 2890
10	ジェイミー・ハント (NZL) 2460
19	小原 工 (鳥取) 1655
45	福井 英郎 (千葉) 950
53	山本 淳一 (愛知) 825
82	中込 英夫 (愛知) 450
87	小嶋 基史 (愛知) 440
87	永留 誠 (千葉) 440
108	マイケル・トリーズ (茨城) 310
124	千葉 智雄 (愛知) 215
145	鈴木 隼人 (東京) 155
199	伊藤 功顕 (神奈川) 65
226	武友 寛 (学生) 40
230	竹内 鉄平 (学生) 35
233	星野 健一 (東京) 30
244	福島 智和 (千葉) 25
244	西内 洋行 (福島) 25
259	高辺 朋和 (大阪) 20
259	山口 浩司 (埼玉) 20
259	山口 博久 (茨城) 20
アジアトライアスロン同盟公認大会	
第7回ASTCアジア・トライアスロン選手権シンガポール大会 (6/21) 競技距離51.5km	
女子	
1	細谷はるな (愛知) 2:06:57

2	小梅川雪絵 (大阪) 2:08:27
3	大河原浩美 (愛知) 2:10:51
4	枇杷田深雪 (学生) 2:11:25
男子	
1	小原 工 (鳥取) 1:54:19
2	山本 淳一 (愛知) 1:54:50
3	小嶋 基史 (愛知) 1:56:58
6	鈴木 隼人 (東京) 1:58:11
12	マイケル・トリーズ (茨城) 2:00:41
ジュニア女子	
1	仲野 瑞穂 (学生) 2:14:18
2	福山 智代 (学生) 2:16:42
3	吉川 咲 (東京) 2:17:17
ジュニア男子	
1	中根 肇 (愛知) 2:01:07
2	イエオ・ジェラルド (SIN) 2:02:01
3	和田 浩治 (学生) 2:02:23
5	益田 大貴 (東京) 2:04:57
7	宮田 俊介 (東京) 2:05:50

['97年国内レースリザルト]

NTTトライアスロンジャパンカップ第1戦
 '97 ITUトライアスロン・ワールドカップ
 石垣島大会 (4/13)
 競技距離51.5km

女子	
1	エマ・カーニー (AUS)
2	リナ・ヒル (AUS)
3	ジャッキー・ガラガー (AUS)
男子	
1	クリス・マコーマック (AUS)
2	マイルス・スチュワート (AUS)
3	ジェイミー・ハント (NZL)

NTTトライアスロンジャパンカップ第2戦
 '97ASTCアジア・トライアスロン選手権日
 本代表選考大会
 第13回天草国際トライアスロン大会 (6/8)
 競技距離51.5km

女子	
1	ニコル・ハケット (AUS)
2	山崎真理子 (茨城)
3	コリー・ライオンズ (CAN)
男子	
1	小原 工 (鳥取)
2	山本 淳一 (愛知)
3	グレッグ・タイムウエル (CAN)
ジュニア女子	
1	仲野 瑞穂 (福岡)
2	中川 絵理 (愛知)
3	東 千歳 (大阪)
ジュニア男子	
1	平田 治 (奈良)
2	田上 雅大 (熊本)
3	安藤 隼人 (鹿児島)

**第11回小豆島オーリーブ・トライアスロン国
 際大会 (6/22) 競技距離51.5km**

女子	
1	エリン・シュルツ (USA)
2	坂根 三佳 (京都)
3	高橋希代子 (京都)
男子	
1	キャメロン・ブラウン (NZL)
2	高辺 朋和 (大阪)

3 ケビン・ジョイス (USA)

NTTトライアスロンジャパンカップ第3戦
 '97 ITUトライアスロン・ワールドカップ
 蒲郡大会 (7/6)
 競技距離51.5km

女子	
1	エマ・カーニー (AUS)
2	庭田 清美 (千葉)
3	バーバラ・リンクイスト (USA)
男子	
1	ブラッド・ペーベン (AUS)
2	ハミッシュ・カーター (NZL)
3	ステファン・ピニエ (FRA)

'97東京港国際トライアスロン大会 (7/20)
 競技距離12.875km

ジュニア女子	
1	ジョシー・ローン (AUS)
2	ハンソン・ヒー (KOR)
3	福山 智代 (東京)
ジュニア男子	
1	渡辺 明 (千葉)
2	平野 司 (大阪)
3	稲谷 将太 (大阪)
女子	
1	庭田 清美 (千葉)
2	小梅川雪絵 (大阪)
3	細谷はるな (愛知)
男子	
1	キャメロン・ブラウン (NZL)
2	グレン・マンガム (USA)
3	山本 淳一 (愛知)

NTTトライアスロンジャパンカップ第4戦
 '97全日本選抜トライアスロン選手権長良川
 大会 (8/3) 競技距離51.5km

女子	
1	リアンダ・ケイブ (AUS)
2	志垣めぐみ (宮崎)
3	志垣 千秋 (宮崎)
男子	
1	ロック・フォルマーハウス (AUS)
2	小原 工 (鳥取)
3	ブライス・クオーク (AUS)

**第2回日本ジュニア・トライアスロン選手権
 玄海大会 (8/24)**

競技距離	
ジュニアA (18~19歳) B (16~17歳) 35.75km	
ジュニアオープン (中学生~15歳) 24km	
ジュニアA女子	
1	高野 紀子 (学生)
2	枇杷田深雪 (学生)
3	仲野 瑞穂 (福岡)
ジュニアA男子	
1	福井 英郎 (千葉)
2	平田 治 (奈良)
3	武友 寛 (学生)
ジュニアB女子	
1	福山 智代 (東京)
2	保田 梨江 (福岡)
3	佐野 美希 (兵庫)
ジュニアB男子	
1	山本 良介 (京都)
2	益田 大貴 (大阪)

3 近藤 哲矢(宮城) オープン女子

- 1 吉川 咲(東京)
- 2 堀 留美(大阪)
- 3 武友 麻衣(福岡)

オープン男子

- 1 渡邊 明(千葉)
- 2 平野 司(大阪)
- 3 宮田 俊介(東京)

NTTトライアスロンジャパンカップ第5戦 第2回日本ロングディスタンス・トライアスロン選手権佐渡大会(9/7)

競技距離134km

女子

- 1 上原ちはる(沖縄)
- 2 吉田 悦子(千葉)
- 3 堀 陽子(神奈川)

男子

- 1 宮塚 英也(栃木)
- 2 松田 薫(北海道)
- 3 藤原 裕司(栃木)

NTTトライアスロンジャパンカップ第6戦 '97ASTCトライアスロン・アジアカップ村上大会(9/28)

競技距離51.5km

女子

- 1 半田 恵理(学生)
- 2 坂根 三佳(京都)
- 3 小林美智子(栃木)

男子

- 1 マイケル・トリーズ(茨城)
- 2 山口 博久(埼玉)
- 3 伊藤 功顕(神奈川)

NTTトライアスロンジャパンカップ第7戦 第3回日本トライアスロン選手権瀬戸内大会(10/5)

競技距離51.5km

女子

- 1 中西真知子(大阪)
- 2 志垣めぐみ(宮崎)
- 3 半田 恵理(埼玉)

男子

- 1 星野 健一(千葉)
- 2 マイケル・トリーズ(茨城)
- 3 小原 工(鳥取)

'97奄美レディストライアスロン(11/9)

競技距離51.5km

- 1 志垣めぐみ(宮崎)
- 2 塩屋 浪恵(鹿児島)
- 3 東山由紀子(京都)

['96年国内レースリザルト]

NTTトライアスロンジャパンカップ第1戦 '96ITUトライアスロン・ワールドカップ 第1戦根石垣島大会(5/12)

競技距離51.5km

女子

- 1 エマ・カーニー(AUS)
- 2 ジャッキー・ガラガー(AUS)
- 3 リナ・ヒル(AUS)

男子

- 1 マイルス・スチュワート(AUS)

- 2 アレクサンドレ・マンザン(BRA)
- 3 レアンドロ・マセド(BRA)

NTTトライアスロンジャパンカップ第2戦 '96ITUトライアスロン・ワールドカップ 第2戦蒲郡大会(5/19)

競技距離51.5km

女子

- 1 エマ・カーニー(AUS)
- 2 リナ・ヒル(AUS)
- 3 キャロル・モンゴメリー(CAN)

男子

- 1 アレクサンドレ・マンザン(BRA)
- 2 レアンドロ・マセド(BRA)
- 3 ポール・エイミー(NZL)

NTTトライアスロンジャパンカップ第3戦 第12回天草国際トライアスロン大会(6/2)

競技距離51.5km

女子

- 1 細谷はるな(愛知)
- 2 庭田 清美(千葉)
- 3 山崎真理子(学生)

男子

- 1 小嶋 基史(愛知)
- 2 永留 誠(神奈川)
- 3 山本 淳一(愛知)

NTTトライアスロンジャパンカップ第4戦 小豆島大会

第10回小豆島オリブ・トライアスロン国際大会(6/16)

競技距離51.5km

女子

- 1 ベリンダ・チェイニー(AUS)
- 2 坂根 三佳(京都)
- 3 メリー・ジョゼ・コゼット(CAN)

男子

- 1 キャメロン・ブラウン(NZL)
- 2 ビーター・ロバートソン(AUS)
- 3 マイケル・トリーズ(茨城)

'96東京港国際トライアスロン(7/14)

競技距離51.5km

女子

- 1 ニコラ・ホイル(AUS)
- 2 星 圭子(北海道)
- 3 エイドリアン・ヌグワッティ(NZL)

男子

- 1 グレン・マンガム(USA)
- 2 ポール・オプライエン(AUS)
- 3 永留 誠(神奈川)

NTTトライアスロンジャパンカップ第5戦 '96全日本選抜トライアスロン選手権長良川大会(7/28)

競技距離51.5km

女子

- 1 若月 加代(大阪)
- 2 星 圭子(北海道)
- 3 平松 智子(愛知)

男子

- 1 小原 工(鳥取)
- 2 山本 淳一(愛知)
- 3 山口 浩司(埼玉)

NTTトライアスロンジャパンカップ第6戦 第1回日本ジュニア・トライアスロン選手権 玄海大会(8/18)

競技距離51.5km

ジュニアA女子

- 1 大坪 円(福岡)
- 2 荒木 美雪(奈良)
- 3 谷崎 真弓(京都)

ジュニアA男子

- 1 武友 寛(福岡)
- 2 福井 英郎(千葉)
- 3 望月 大亮(千葉)

競技距離25.75km

ジュニアB女子

- 1 中川 絵理(愛知)
- 2 堀 留美(大阪)
- 3 武市奈穂子(岐阜)

ジュニアB男子

- 1 稲谷 将太(大阪)
- 2 木村 誉(熊本)
- 3 原田雄太郎(埼玉)

NTTトライアスロンジャパンカップ第7戦 第10回日本ロングトライアスロン選手権佐渡大会(9/1)

競技距離134km

女子

- 1 山倉 紀子(東京)
- 2 堀 陽子(神奈川)
- 3 森 浩美(愛知)

男子

- 1 北里 信雄(福岡)
- 2 山本 光宏(東京)
- 3 大野 宏(兵庫)

NTTトライアスロンジャパンカップ第8戦 第2回日本トライアスロン選手権福岡大会(9/8)

競技距離51.5km

女子

- 1 小梅川雪絵(大阪)
- 2 若月 加代(大阪)
- 3 山崎真理子(茨城)

男子

- 1 山口 博久(埼玉)
- 2 北里 信雄(福岡)
- 3 福井 英郎(千葉)

NTTトライアスロンジャパンカップ第9戦 ASTCトライアスロンアジアカップ村上大会(9/20)

競技距離51.5km

女子

- 1 ワン・ダン(CHN)
- 2 細谷はるな(愛知)
- 3 小梅川雪絵(大阪)

男子

- 1 山口 博久(埼玉)
- 2 マイケル・トリーズ(茨城)
- 3 星野 健一(千葉)

'96奄美国際レディストライアスロン(11/10)

競技距離51.5km

- 1 エマ・カーニー(AUS)
- 2 リナ・ヒル(AUS)

3 サラ・コックス (GBR)

[95年国内レースリザルト]

天草国際トライアスロン大会 (5/14)

競技距離 51.5km

女子

- 1 鈴木あや子 (神奈川)
- 2 若月 加代 (大阪)
- 3 高橋希代子 (滋賀)

男子

- 1 マイケル・トリーズ (茨城)
- 2 クリス・ヒル (AUS)
- 3 グレン・マンガム (USA)

全日本ショートトライアスロン選手権in伊豆大島大会 (6/11)

競技距離 51.5km

女子

- 1 高橋希代子 (滋賀)
- 2 小梅川雪絵 (大阪)
- 3 今井 良子 (京都)

男子

- 1 マイケル・トリーズ (茨城)
- 2 山口 博久 (埼玉)
- 3 田村 嘉規 (京都)

ITUトライアスロン・ワールドカップ第4戦 清洲大会 (7/2)

競技距離 51.5km

女子

- 1 リナ・ブラッドショウ (AUS)
- 2 クレア・カーニー (AUS)
- 3 ケイティ・ウェブ (AUS)

男子

- 1 ブラッド・ペーベン (AUS)
- 2 ハミッシュ・カーター (NZL)
- 3 キャメロン・ブラウン (NZL)

全日本レディストライアスロン洞爺湖大会 in ABUTA (7/16)

競技距離 51.5km

女子

- 1 若月 加代 (大阪)
- 2 今井 良子 (京都)
- 3 土屋真理子 (北海道)

第1回日本トライアスロン選手権長良川大会 (7/30)

競技距離 51.5km

女子

- 1 小林美智子 (静岡)
- 2 鈴木あや子 (神奈川)
- 3 森 浩美 (愛知)

男子

- 1 田村 嘉規 (京都)
- 2 小原 工 (鳥取)
- 3 小嶋 基史 (愛知)

95ジャパンカップトライアスロンin佐渡 (9/3)

競技距離 Aタイプ 239.195km (スイム 3.9kmがラン9kmに変更)

Bタイプ 152km (スイム3kmがラン7kmに変更)

Aタイプ女子

- 1 松本 晴美 (岡山)

2 ロリー・ボーデン (CAN)

3 シェリー・トウシェー (USA)

Aタイプ男子

- 1 山根 英紀 (千葉)
- 2 井出 晋一 (長野)
- 3 岡田 夏来 (奈良)

Bタイプ女子

- 1 アリソン・クート (AUS)
- 2 シルビア・コルベット (CAN)
- 3 ナンシー・バランズ (USA)

Bタイプ男子

- 1 山本 光宏 (東京)
- 2 藤原 裕司 (千葉)
- 3 ダリン・ロー (USA)

村上国際トライアスロン大会 (9/10)

競技距離 51.5km

女子

- 1 キャシー・ステッツ (USA)
- 2 小林美智子 (静岡)
- 3 キム・ベキンセール (AUS)

男子

- 1 アンドリュー・ケルシー (USA)
- 2 マイケル・トリーズ (茨城)
- 3 ルーク・グラタン (AUS)

全日本選抜トライアスロン選手権波崎大会 (9/17)

競技距離 51.5km (台風のため中止)

[94年国内レースリザルト]

ITUトライアスロン・ワールドカップ第1戦 天草大会 (5/29)

競技距離 51.5km

女子

- 1 リナ・ブラッドショウ (AUS)
- 2 サビーネ・ウェストホフ (GER)
- 3 ジェニー・ローズ (NZL)

男子

- 1 ウェスレー・ホフソン (USA)
- 2 ネット・ルランディ (USA)
- 3 フィリップ・ファトーリ (FRA)

ITUトライアスロン・ワールドカップ第2戦 大阪ウォーターフロント大会 (6/5)

競技距離 51.5km

女子

- 1 リナ・ブラッドショウ (AUS)
- 2 サビーネ・ウェストホフ (GER)
- 3 ジェニー・ローズ (NZL)

男子

- 1 ブラッド・ペーベン (AUS)
- 2 ライナー・ミュラー (GER)
- 3 クリストフ・マウク (SUI)

全日本ショートトライアスロン選手権in伊豆大島大会 (6/12)

競技距離 51.5km

女子

- 1 山倉 紀子 (東京)
- 2 佐藤 千絵 (神奈川)
- 3 星 圭子 (北海道)

男子

- 1 グレン・マンガム (USA)
- 2 田村 嘉規 (京都)

3 星野 健一 (千葉)

長良川国際トライアスロン大会 (7/31)

競技距離 51.5km

女子

- 1 小林美智子 (静岡)
- 2 ヘレン・マッキーチー (AUS)
- 3 阪東 礼子

男子

- 1 小嶋 基史 (愛知)
- 2 エイブ・ロジャース (USA)
- 3 マイケル・トリーズ (茨城)

全日本トライアスロン選抜大会in波崎 (9/18)

競技距離 51.5km

女子

- 1 高橋希代子 (滋賀)
- 2 ナタリー・オーチャード (AUS)
- 3 小林美智子 (静岡)

男子

- 1 グレン・マンガム (USA)
- 2 ジェイソン・メッターズ (AUS)
- 3 田村 嘉規 (京都)

アジアトライアスロン同盟

アジア選手権歴代優勝者

競技距離 51.5km

92年第1回大会 日本・波崎

女子 高橋希代子 (滋賀)

男子 小原 工 (鳥取)

93年第2回大会 中国・天津

女子 高橋希代子 (滋賀)

男子 小原 工 (鳥取)

94年第3回大会 韓国・済州島

女子 小林美智子 (静岡)

男子 田村 嘉規 (京都)

95年第4回大会 マレーシア・コタキナバル

女子 小林美智子 (静岡)

男子 小原 工 (鳥取)

96年第5回大会 インド・マドラス

女子 細谷はるな (愛知)

男子 北里 信雄 (福岡)

97年第6回大会 フィリピン・スピックベイ

女子 山崎真理子 (茨城)

男子 小原 工 (鳥取)

98年第7回大会 シンガポール

女子 細谷はるな (愛知)

男子 小原 工 (鳥取)

*96年女子は荒天のためデュアスロン (R5km/B40km/R10km) で実施

*凡例

AUS:オーストラリア BEL:ベルギー BRA:ブラジル CAN:カナダ CZE:チェコ CHN:中国 DEN:デンマーク ESP:スペイン FRA:フランス GBR:イギリス GER:ドイツ HUN:ハンガリー KAZ:カザフスタン KOR:大韓民国 NED:オランダ NZL:ニュージーランド SIN:シンガポール SUI:スイス SWE:スウェーデン USA:アメリカ VEN:ベネズエラ

'99年日本トライアスロン連合強化指定選手(1999年3月1日現在)

ナショナルチーム

S 資格:'98ITUランキング20位以内、'98ITU世界選手権20位以内、'98ITUワールドカップ10位入賞



KIYOMI NIWATA

庭田 清美
(にわた きよみ)

シャクリー・FILA・GT・グリー
ンタワー / 千葉県連合 千葉県千
葉市稲毛区 1970年12月10日
165cm 53kg ITUワールドカップ
石垣島10位、ITUワールドカップシ
ドニー17位、天草国際1位、ASTCア
ジアカップサバー2位、ITUワールド
カップチューリッヒ24位、JTUSー
パースプリント昭和記念1位、ITUワ
ールドカップ蒲郡5位、日本スプリ
ント選手権東京港1位、グッドウィ
ルゲーム10位、ITUワールドカップ
コーナールック19位、ITUワールドカ
ップティシュアウイパローシュ9位、

ITU世界選手権ローザンヌ35位、
ASTCアジアカップ村上2位、ITUワ
ールドカップカンクン10位、ITUワ
ールドカップオークランド9位、
ITUワールドカップヌーサ18位、
ITUランキング14位、JTUランキング
1位、JTUグランプリ最優秀選手賞



HARUNA HOSOYA

細谷はるな
(ほそや はるな)

ニデック / 愛知県協会 愛知県
蒲郡市 1973年4月23日 157.8cm
50kg ITUワールドカップ石垣島
33位、ITUワールドカップシドニー
14位、天草国際3位、ASTCアジア
カップサバー3位、ASTCアジア選
手権1位、ITUワールドカップ蒲郡6
位、ASTCアジアカップフィリピン
2位、ITUワールドカップコーナ
ールック22位、ITU世界選手権ロー
ザンヌ28位、ASTCアジアカップ村
上4位、ITUワールドカップカンク

ン20位、ITUワールドカップオー
クランド18位、ITUワールドカッ
プヌーサ8位、ITUランキング17位、
JTUランキング3位、JTUグラン
プリ優秀選手賞



TAKUMI OHARA

小原 工
(おばら たくみ)

チームテイケイ / 鳥取県協会
兵庫県川西市 1967年2月9日
164cm 54kg ITUワールドカップ
石垣島49位、ITUワールドカップシ
ドニー13位、天草国際5位、ASTC
アジア選手権1位、ITUワールドカ
ップ蒲郡18位、ASTCアジアカッ
プフィリピン1位、ITUワールドカ
ップティシュアウイパローシュ20位、
ITU世界選手権ローザンヌ48位、
ASTCアジアカップ村上3位、ITUワ
ールドカップカンクン8位、ITUワ

ールドカップヌーサ9位、ITUラン
キング19位、JTUランキング1位、
JTUグランプリ最優秀選手賞



A 資格: '98ITUランキング50位以内、'98ITUワールドカップ20位以内2回以上、
'98ITU世界選手権25位以内、'98ASTCアジア選手権優勝



YUKIE KOUMEGAWA

小梅川 雪絵

(こうめがわ ゆきえ)

チームテイケイ / 大阪府協会 兵庫県
庫庫川西市 1969年12月8日
161cm 50kg ITUワールドカップ
石垣島29位、ITUワールドカップシ
ドニー13位、天草国際2位、ASTC
アジア選手権2位、ITUワールドカ
ップ蒲郡11位、ITU世界選手権ローザ
ンヌ39位、ASTCアジアカップ村上
3位、ITUワールドカップカンクン18
位、ITUワールドカップヌーサ26位、
ITUランキング43位、JТУランキン
グ2位



MACHIO NAKANISHI

中西 真知子

(なかにし まちこ)

チームNTT / 愛知県協会 愛知県
岡崎市 1976年9月19日 162cm
54kg ITUワールドカップ石垣島40
位、ITUワールドカップシドニー20
位、天草国際4位、ITUワールドカ
ップ蒲郡19位、日本スプリント選
手権東京港3位、ASTCアジアカ
ップフィリピン3位、ITUワールドカ
ップコーナブルック28位、ITU世
界選手権ローザンヌ43位、ASTCア
ジアカップ村上6位、ITUワールド
カップカンクン21位、ITUワールド

カップオークランド29位、ITUラン
キング48位、JТУランキング4位



HIDEO FUKUI

福井 英郎

(ふくい ひでお)

シャクリー・FILA・GT・グリー
ンタワー / 千葉県連合 千葉県千
葉市稲毛区 1977年9月25日
174cm 66kg ITUワールドカップ
石垣島28位、ITUワールドカップシ
ドニー48位、天草国際8位、ASTC
アジアカップサバー1位、ITUワ
ールドカップチューリッヒ51位、JТУス
ーパーズプリント昭和記念1位、ITUワ
ールドカップ蒲郡31位、日本ス
プリント選手権東京港2位、グッドウ
イルゲーム13位、ITUワールドカ
ップコーナブルック24位、ITUワ
ールドカップティシュアウイバロー

シュ32位、ITU世界選手権ローザン
ヌ21位、ASTCアジアカップ村上5位、
ITUワールドカップオークランド14位、
ITUランキング43位、JТУランキン
グ2位、JТУグランプリ優秀選手賞



B 資格:強化指定選手のうちナショナルチームに準ずる選手、'98年度競技実績および'99強化指定選手認定記録会で一定基準を満たした選手(19歳以上)

大河原浩美(おおかわら ひろみ)

愛知県協会 愛知県岡崎市 1971年8月6日 157cm 48kg ITUワールドカップ石垣島36位、天草国際5位、ASTCアジア選手権3位、ITUワールドカップ蒲郡20位、ITU世界選手権ローザンヌ53位、ASTCアジアカップ村上5位、ITUランキング80位、JТУランキング6位

仲野 瑞穂(なかの みずほ)

九州女子短期大学 福岡県直方市 1978年5月9日 159cm 48kg 天草国際16位、ASTCアジア選手権5位・ジュニア1位、日本スプリント選手権東京港8位、日本選手権長良川3位、FISU世界大学選手権31位、ITU世界選手権ローザンヌジュニア28位、日本学生選手権3位、ASTCアジアカップ村上14位、ITUランキング132位、JТУランキング7位、JТУグランプリ新人賞

枇杷田深雪(びわた みゆき)

ニデック/大阪府協会 大阪府羽曳野市 1978年8月28日 157cm 48kg 天草国際8位、ASTCアジア選手権4位、ITUワールドカップ蒲郡31位、日本選手権長良川1位、ITU世界選手権ローザンヌジュニア20位、ASTCアジアカップ村上7位、ITUランキング101位、JТУランキング5位、JТУグランプリ優秀選手賞・新人賞

星野 健一(ほしの けんいち)

東京都連合 東京都板橋区 1971年10月15日 170cm 59kg ITUワールドカップ石垣島51位、天草国際1位、ITUワールドカップ蒲郡32位、日本選手権長良川11位、ASTCアジアカップ村上13位、ITUランキング245位、JТУランキング3位、JТУグランプリ優秀選手賞

山本 淳一(やまもと じゅんいち)

チームNTT/愛知県協会 愛知県岡崎市 1973年12月25日 182cm 68kg ITUワールドカップ石垣島41位、ITUワールドカップシドニー55位、天

草国際7位、ASTCアジア選手権2位、ITUワールドカップ蒲郡23位、ASTCアジアカップフィリピン2位、ITUワールドカップコーナブルック44位、ITU世界選手権ローザンヌ43位、ASTCアジアカップ村上6位、ITUワールドカップオークランド43位、ITUランキング53位、JТУランキング4位、JТУグランプリ優秀選手賞

C 資格:'98ITU国際大会10位以内、'98JТУ公式大会国内10位入賞(含スーパースプリント)、'98日本学生選手権3位以内、'98強化指定選手認定記録会で標準記録を突破した選手

井上由佳子(いのうえ ゆかこ)

日本体育大学教員/千葉県連合 東京都世田谷区 1973年9月22日

上原ちはる(うえはら ちはる)

STORCK/沖縄県連合 沖縄県那覇市 1971年9月23日

坂根 三佳(さかね みか)

チームINAGE/京都府協会 千葉県千葉市稲毛区 1970年5月31日

櫻井 博江(さくらい ひろえ)

チームテイケイ/茨城県協会 茨城県つくば市 1970年6月14日

野上三代子(のがみ みよこ)

山梨整形外科/静岡県協会 静岡県静岡市 1970年11月28日

林 佐知子(はやし さちこ)

東京都連合 東京都足立区 1970年12月29日

半田 恵理(はんた えり)

埼玉県連合 埼玉県与野市 1976年11月14日

東 千歳(ひがし ちとせ)

大阪体育大学 大阪府河内長野市 1979年2月5日

東山由紀子(ひがしやま ゆきこ)

京都府協会 静岡県浜松市 1973年7月21日

平中 知子(ひらなか ともこ)

東京都連合 東京都稲城市 1973年7月8日

平松 智子(ひらまつ ともこ)

愛知県協会 愛知県知多郡東浦町 1974年1月12日

山倉 紀子(やまくら のりこ)

東京都連合 東京都稲城市 1963年11月11日

若杉 亮子(わかすぎ りょうこ)

愛知県協会 愛知県豊田市 1976年8月26日

若月 加代(わかつき かよ)

大阪府協会 大阪府寝屋川市 1971年8月16日

青山 剛(あおやま たけし)

千葉県連合 千葉県市川市 1974年7月14日

池形 成信(いけがた しげのぶ)

福岡県連合 福岡県福岡市東区 1974年8月7日

伊藤 功顕(いとう のりあき)

神奈川県連合 神奈川県横浜市鶴見区 1973年7月21日

菊地 次郎(きくち じろう)

チームINAGE/山形大学 千葉県千葉市稲毛区 1975年5月28日

北尾 伶士(きたお さとし)

京都府協会 京都府田辺市 1977年2月24日

北里 信雄(きたざと のぶお)

福岡県連合 福岡県直方市 1965年5月7日

小嶋 基史(こじま もとふみ)

イノアック/愛知県協会 愛知県幡豆郡幡豆町 1966年12月15日

櫻井 紀佳(さくらい のりよし)

チームINAGE/千葉県連合 滋賀県大津市 1976年12月3日

鈴木 隼人(すずき はやと)

東京都連合 東京都八王子市 1973年8月30日

須藤 和男(すどう かずお)

チームテイケイ/兵庫県協会 兵庫県川辺郡猪名河町 1972年9月8日

竹内 鉄平(たけうち てっぺい)

愛知県協会 愛知県知多市 1976年12月6日

田村 嘉規(たむら よしのり)

西京味噌/京都府協会 京都府京都市左京区 1969年3月14日

千葉 智雄(ちば ともお)

リーボックSTORCK/愛知県協会

愛知県愛知郡長久手町 1971年6月3日
マイケル・トリーズ (Micheal Trees)
 チームテイケイ / 茨城県協会 茨城県
 県土浦市 1962年9月26日

中込 英夫 (なかごめ ひでお)
 ニデック / 愛知県協会 愛知県蒲郡市
 1967年4月27日

永留 誠 (ながとめ まこと)
 千葉県連合 東京都稲城市 1974年
 12月3日

仁井 晶一 (にい しゅういち)
 日本食研 / 愛媛県協会 愛媛県今治市
 1973年6月15日

西内 洋行 (にしうち ひろゆき)
 宮城県協会 千葉県千葉市稲毛区
 1975年10月13日

平田 治 (ひらた おさむ)
 奈良県協会 奈良県北葛城郡王寺町
 1977年11月3日

福島 智和 (ふくしま ともかず)
 チームINAGE / 千葉県連合 千葉県
 千葉市稲毛区 1975年4月4日

宮塚 英也 (みやづか ひでや)
 栃木県協会 栃木県黒磯市 1964年
 1月16日

宮本 訓寛 (みやもと くにひろ)
 大阪府協会 大阪府東大阪市 1972
 年11月24日

望月 大亮 (もちづき たいすけ)
 千葉県連合 千葉県佐倉市 1976年
 11月22日

山口 博久 (やまぐち ひろひさ)
 茨城県協会 埼玉県入間市 1971年
 4月25日

ジュニア強化指定選手

A 資格: '98JТУ主催5大会 (天草、長良川、村上、昭和記念、東京港) エリートトップ10位以内・'99JТУ主催4大会 (天草、長良川、村上、東京港) エリートトップ10位以内

中川 絵理 (なかがわ えり)
 名古屋西高校 / 愛知県協会 愛知県
 名古屋市北区 1981年7月13日
 154cm 44kg 天草国際12位、JТУス
 ーパースプリント昭和記念2位、日本
 スプリント選手権東京港10位、日本選
 手権長良川19位、ITU世界選手権ローザ

ンヌジュニア33位、ASTCアジアカッ
 プ村上16位、JТУランキング14位

吉川 咲 (よしかわ さき)
 大東学園高校 / 東京都連合 東京
 都青梅市 1982年3月6日 158cm
 45kg アジア選手権7位・ジュニア3
 位、JТУスーパープリント昭和記念8位、
 ITUワールドカップ蒲郡27位、ITU世界
 選手権ローザンヌジュニア40位、ITUラ
 ンキング132位、JТУランキング16位

ロングディスタンス強化指定選手

A 資格: '98ITUロングディスタンス
 世界選手権10位以内、'98アイアンマ
 ンハワイ20位以内

志垣めぐみ (しがき めぐみ)
 宮城県連合 東京都保谷市 1974
 年1月21日 155cm kg ITUワールド
 カップ石垣島41位、徳之島1位、ITU
 ロングディスタンス世界選手権佐渡3
 位、ITUランキング220位、JТУランキ
 ング17位、JТУグランプリ優秀選手
 賞・会長賞

堀 陽子 (ほり ようこ)
 神奈川県連合 神奈川県茅ヶ崎市
 1968年2月17日 159cm 52kg 徳
 之島4位、ITUロングディスタンス世
 界選手権佐渡7位

山倉 紀子 (やまくら のりこ)
 東京都連合 東京都稲城市 1963
 年11月11日 162cm 48kg 宮古島5
 位、天草国際18位、JТУスーパース
 プrint昭和記念7位、ITUロングディ
 スタンス世界選手権佐渡10位

B 資格: '98ITUロングディスタンス世
 界選手権20位以内、'98アイアンマ
 ンハワイ30位以内(男子)、'98アイアンマ
 ンハワイでトップから12%以内のタイム
 (女子)、'98宮古島上位10位以内でトッ
 プから6%以内のタイム、'98各地のアイ
 アンマンで10位以内、'98徳之島1位

竹内 淳子 (たけうち じゅんこ)
 長野県協会 長野県松本市 1965
 年1月10日

谷 新吾 (たに しんご)
 チームテイケイ / 兵庫県協会 兵

庫県川辺郡猪名河町 1967年7月6日
田村 嘉規 (たむら よしのり) 前掲
宮塚 英也 (みやづか ひでや) 前掲

C 資格: '98アイアンマンハワイ60位
 以内(男子)、'98アイアンマンハワイ
 でトップから20%以内のタイム(女
 子)、'98宮古島でトップから8%以内
 のタイム、'98各地のアイアンマンで
 20位以内、'98徳之島6位以内、JТУ
 強化委員会の推薦

今井 良子 (いまい りょうこ)
 京都府協会 京都府京都市 1963
 年3月16日

上原ちはる (うえはら ちはる) 前掲
坂根 三佳 (さかね みか) 前掲
星 圭子 (ほし けいこ)

北海道連合 北海道帯広市 1969
 年6月23日

松本 晴美 (まつもと はるみ)
 岡山県協会 岡山県岡山市 1967
 年6月26日

村上 純子 (むらかみ じゅんこ)
 北海道連合 北海道札幌市厚別区
 1964年6月20日

北里 信雄 (きたざと のぶお) 前掲
小松崎 真 (こまつざき まこと)

チームJ-BEAT / 神奈川県連合 神
 奈川県横浜市金沢区 1965年10月24
 日

酒井 修 (さかい おさむ)
 チームJ-BEAT / 東京都連合 東京
 都墨田区

白戸 太郎 (しらと たろう)
 大島造船所 / 東京都連合 東京都文
 京区 1966年11月1日

鈴木 照幸 (すずき てるゆき)
 愛知県協会 愛知県豊田市 1973
 年5月7日

須藤 和男 (すどう かずお) 前掲
津々見真二 (つづみ しんじ)
 福岡県連合 福岡県行橋市 1971
 年6月12日

藤原 裕司 (ふじわら ゆうじ)
 栃木県協会 栃木県黒磯市 1963
 年9月21日

General Information on the '99 NTT Triathlon Japan Cup



Triathlon was born in 1974 in San Diego, California, in USA. Since the foundation of the International Triathlon Union (ITU) in 1989, the 51.5 km distance race has so widespread and has grown so rapidly it was decided in 1994 that this sport should be included in the official program of the 2000 Sydney Olympic Games. Such rapid development of a sport has never been seen before.

In Japan, the Japan Triathlon Union (JTU) was established in 1994 as a body into which various conventional triathlon organizations were combined. Since then, the JTU has been doing its utmost for promotion and



development of the sport of triathlon, and even further for the winning of medals at the Olympics.

The JTU is proud to have more than 30,000 member triathletes and to have held no less than 200 races.

Situated in the east of the Asian continent, Japan has four distinctive seasons a moderate spring, a humid and hot summer with temperatures above 30 , a rather dry autumn and a snowy winter changes of seasons add another charm to Japan. Spanning these seasons the 1999 NTT Triathlon Japan Cup series will be held from April through September. It is one and only,

6

26 Sep
1999 ASTC Triathlon Asian Cup ,

Murakami

4

18 Jul
2nd Annual Sprint
Triathlon National
Championship,

Tokyo Port

2

18 Apr
1999 ITU Triathlon World Cup,

Gamagori

and best series held in Japan, enjoying the participation of top athletes from home and abroad.

Features of the 1999 series include our first race to be held in Ishigaki and the second in Gamagori which will serve as the 1st and 2nd legs of the ITU Triathlon World Cup at the same time. In addition, our third race in Amakusa and the fifth in Nagaragawa are also designated as official ITU international events where athletes can earn ITU World Points which are Olympic qualifying points for the Sydney Olympic Games.

World ranking points are awarded to the top 50 finishers at each ITU World Cup, and to

the top 10 finishers at the ITU international race. If your schedule allows, it is possible for you to earn a great number of points in Japan.

The courses at each event are not monotonous, but interesting, and are well-regarded for their safety and good organization.

Drafting is allowed in each event of this series.

We hope all the athletes will enjoy racing in Japan while appreciating the various charms of each of the four seasons.



1999 ITU Triathlon World Cup, Ishigaki Island

Date: 11 Apr

Distance: 51.5 km

The competition in Ishigaki serves as the very first race marking the opening of this season both in Japan and in the world. The warm climate and beautiful surrounding scenery welcome athletes to this island. Triathlon will be raced over coral-blue sea



and the city center where a 6-lap bike course and a 4-lap run course are laid out. The bike course, which requires technical skills due to its layout, is especially challenging.

Starting time: Women 13:00 Men 15:45

Access: bus available from Ishigaki Airport



1999 ITU Triathlon World Cup, Gamagori

Date: 18 Apr

Distance: 51.5 km

The race is held back to back with the Ishigaki event. The whole course, comprising the swim segment laid out in a motorboat race site with few waves, and the bike and run courses spread out over the pier makes it one of the fastest courses in the world. Since most of the race can be



seen by spectators who take seats in the stands, athletes can count on an enthusiastic cheering.

Starting time: Women 11:00 Men 13:45

Access: bus(1 hour)/train(2 hours) available from Nagoya International Airport



1999 Asian Championship National Qualifying Event, Amakusa

Date: 16 May

Distance: 51.5 km

This race is designated as an ITU international event. The course is laid out within the Unzen Amakusa National Park. The bike course goes along roads with a beautiful seaside view. The run course goes through the town that has a long history of



Christianity. Both bike and run courses with ups and downs test the strength of athletes legs.

Starting time: Men 7:30 Women 8:00

Access: express bus(3 hours) available from Kumamoto Airport



2nd Annual Sprint Triathlon National Championship, Tokyo Port

Date: 18 Jul

Distance: 25.75 km

This race takes place at the center of metropolitan Tokyo. Against a backdrop of the Rainbow Bridge spanning the waterfront and skyscrapers, everyone can enjoy a cityscape no less beautiful than that of Sydney. Good preparation for the climate is

necessary as the race is held in mid-summer in Tokyo.

Starting time: Tbd

Access: bus(1 hour 30minutes) available from New Tokyo International Airport



5th Annual Triathlon National Championship, Nagara River

Date: 8 Aug

Distance: 51.5 km

This race is designated as an ITU Triathlon international event. The course is laid out along the riverbank of the Nagara River. Both bike and run courses have 2 laps. This course is flat overall, which contributes to high speed racing. Since the race is held in

the hottest season in the year, being in good shape is the key to winning the race.

Starting time: Tbd

Access: bus(2 hours) available from Nagoya International Airport



1999 ASTC Triathlon Asian Cup, Murakami

Date: 26 Sep

Distance: 51.5 km

In the autumnal air, triathletes swim in the Sea of Japan and bicycle along the seacoast. The wind from the sea should be considered part of the strategies for the bike segment. The run course passes through the old castle town. This race is also designated as

an ITU international race.

Starting time: Men 9:45 Women 10:00

Access: bus(1 hour)/train(1 hour) available from Niigata Airport through Kansai International Airport



ITU 1999 - 2000 Event Schedule

The International Triathlon Union (ITU) announced its schedule of World Championships and World Cup events. President Les McDonald noted, "As we approach the 2000 Olympic Games in Sydney, the international calendar for ITU triathlon and duathlon events is confirmed. We are pleased to announce the long term schedule earlier than any time in our ten year history."

Triathlon makes its Olympic debut on the first two days of the 2000 Games in Sydney. The women's event will be held on Saturday, 16 September as one of the first competitions of the Games, with the men racing on Sunday, 17 September. Both events will be staged at the Sydney Opera House. The ITU Triathlon World Rankings is the primary qualification criteria for competitors wishing to race for Olympic medals.



1999 World Championships

Winter Triathlon: Bardonecchia, ITA 14 Mar
 Long Distance Duathlon Powerman: Zofingen, SUI 6 Jun
 Long Distance Triathlon: Sater, SWE 10-11 Jul
 Olympic Distance Triathlon: Munich, GER 4-5 Sep
 Short Distance Duathlon: Huntersville, USA 16-17 Oct
 Aquathon: Noosa, AUS 31 Oct

1999 ITU Triathlon World Cup

Ishigaki, JPN 11 Apr	Cancun, MEX 10 Oct
Gamagori, JPN 18 Apr	Noosa, AUS 7 Nov
Sydney, AUS 2 May	
Flandres, BEL 13 Jun	
Monaco, 20 Jun	
Tiszaujvaros, HUN 8 Aug	
Newfoundland, CAN 15 Aug	
Lausanne, SUI 29 Aug	

1999 International Event

Antofagasta, CHI 14 Feb	Nagara, JPN 8 Aug
Mykonos, RSA 6 Mar	Gyor, HUN 22 Aug
Valle de Bravo MEX 13 Mar	Brno, CZR 11 Sep
Mar del Plata, ARG 14 Mar	Pacific Grove, USA 11 Sep
Tampa/St. Petersburg, USA 25 Apr	Murakami, JPN 26 Sep
Noumea, FRA 25 Apr	Holambra, BRA 24 Oct
Anzio, ITA 25 Apr	Ixtapa, MEX 13 Nov
Sao Paulo, BRA 25 Apr	Macau, CHN Dec
Amakusa, JPN 16 May	
Forte de Marmi, ITA 16 May	
Coria, ESP 22 May	
Sabah, MAL 23 May	
Zundert, HOL 30 May	
Milan, ITA 30 May	
Marseille, FRA 5 Jun	
Tumon- Guam, 5 Jun	
Lake Havasau, USA 6 Jun	
Echternach, LUX 6 Jun	
Prague, CZE 19 Jun	
Kona/Hawaii, USA 27 Jun	
Los Cabos, MEX 3 Jul	
Graus, ESP 10 Jul	

1999 ITU Regional Championships

Africa: Troutbeck, ZIM 27 Mar
 Central America/Caribbean: El Salvador, 16-17 Apr
 Oceania: Mooloolaba, AUS 9 May
 Europe: Madeira, POR 3-4 Jul
 Asia: Sokcho, KOR 4 Jul
 Pan American Games: Winnipeg, CAN 24 Jul
 North America: Tbd
 South America: Tbd

Note:

All "International" Triathlon Events earn Olympic Qualifying Points and World Championships Qualifying Points.

All "Regional Championships" are Olympic Qualifying Events and World Championships Qualifying Events.

All "World Cups" are Olympic Qualifying Events and World Championships Qualifying Events.

The "Triathlon World Championships" are an Olympic Qualifying Event.

1999 World Ranking Points

Note to Athletes:

Only the best 7 point totals count.

Points can be earned at the World Championships, World Cups, Regional Championships and International Events.

Of the best 7 point totals, results of the best 4 International Events can be included. Athletes can not earn points at more than 4 International Events.

Points at Regional Championships can only be earned in the region of the athletes NF (for example, an Australian can only earn points in the Oceania region), i.e., a French woman can only earn points at the European Championships.

To earn ranking points at any race, women must finish within 8% of the winners time and men must finish within 5% of the winners time.

	World Cup		Championships		Regional Championships	International Event
	1999	2000	1999	2000	1999	1999
1	1000	1500	1500	2000	500	250
2	800	1200	1200	1600	400	200
3	700	1050	1050	1400	350	175
4	600	900	900	1200	300	150
5	500	750	750	1000	250	125
6	400	600	600	800	200	100
7	350	530	525	700	170	85
8	300	450	450	600	150	75
9	250	380	375	500	130	65
10	200	300	300	400	100	50
11	180	270	270	360	90	
12	160	250	240	320	80	
13	150	230	225	300	70	
14	140	220	210	280	60	
15	130	200	195	260	50	
16	120	180	180	240		
17	110	170	165	220		
18	100	150	150	200		
19	90	140	135	180		
20	80	120	120	160		
21-25	60	90	90	120		
26-30	50	80	75	100		
31-40	40	60	60	80		
41-50	30	50	45	60		

2000 World Championships

Olympic Distance Triathlon: Perth, AUS 29-30 Apr

2000 Triathlon World Cup

Ishigaki, JPN 9 Apr

Sydney, AUS 16 Apr

Newfoundland, CAN 30 Jul

Tiszaujvaros, HUN 6 Aug

Lausanne, SUI 20 Aug

Noosa, AUS 5 Nov

Olympic Qualifying Criteria

Sydney 2000 Olympic Triathlon

Entries:

1. Competitors selected to enter the Olympic Games shall be only those adequately prepared for high level international competition. They will have demonstrated this ability by achieving an ITU Triathlon World Ranking or through regional qualification.

2. There will be a triathlon event for women and a triathlon event for men at the Games of the XXVII Olympiad, Sydney 2000, with a maximum of 50 competitors in each event. In accordance with the Olympic Charter, there will be a maximum of three competitors per NOC in each event.

Qualification Criteria:

Four means of qualification will be used to allocate the 50 Olympic places per event:

- A. ITU Triathlon World Ranking
- B. Regional qualifying events
- C. Host nation
- D. Invitations

A ITU Triathlon World Ranking

Basic Principles:

The top 100 ranked competitors on the ITU Triathlon World Ranking, as of 1 May, 2000

are eligible to compete at the Olympic Games. NOCs will select eligible competitors to the Olympic Games based on the maximum number allowed as per the ITU selection criteria.

Selection Criteria:

The number of competitors representing each NOC will be determined by the ITU national ranking, which will be based on the ITU Triathlon World Ranking of the athletes of each NF.

- i. The top 6 ranked nations will be allocated 3 Olympic places each. This ranking will be calculated on the ranking of the 3 highest ranked competitors in the top 100.
- ii. The next 7 ranked nations will be allocated 2 Olympic places each. This ranking will be calculated on the ranking of the 2 highest ranked competitors in the top 100.
- iii. Remaining nations will be allocated 1 place each in order of the ranking of their best placed competitor in the top 125 until the number of Olympic places reaches 39.

Provisions:

1. If 39 Olympic places are not allocated through the above criteria, those nations with less than 3 Olympic places shall be allocated the remaining places (to a maximum of 3) in accordance with the order of athletes' rankings, until a total of 39 places have been allocated.
2. If 39 Olympic places are still not fully allocated, the ITU reserves the right to name athletes for consideration.

B Regional Qualifying Events

Basic Principles:

The allocation of Olympic places for the ITU Regional Qualifying Events will be made in

May 2000, following the allocation of places using the ITU Triathlon World Ranking. If the nation of the top finisher has already been allocated 3 Olympic places, that athlete remains eligible, and the Olympic place is transferred to the nation of the next highest finisher, who also becomes eligible for selection.

Selection Criteria:

1. In the case of the Americas (comprising the three regions of (i) South America, (ii) Central America and the Caribbean, and (iii) North America) the ITU Regional Qualifying Event will be the Pan American Games, to be held in Winnipeg, Canada in July-August, 1999. The top finisher from each of the three regions gains eligibility for selection and also gains their nation an Olympic place.
2. For the regions of Africa, Europe, Oceania, the top finisher at the respective 1999 Europe, 2000 Africa, 2000 Oceania ITU Regional Championships gains eligibility for selection and also gains their nation an Olympic place.
3. For the region of Asia, the top two (2) finishers at the ITU Asian Championships, 2000 will gain eligibility for selection.

C Host Nation

If not otherwise qualified, the host nation shall be automatically allocated 1 place in each event. If the host nation achieves qualification through one of the above methods, the number of the places to be allocated from the ITU Triathlon World Rankings will be extended from 39 to 40.

D Invitations

The IOC reserves the right to award 2 invitations in consultation with the Tripartite

Commission (IOC-ITU-NOCs).

Special Considerations:

1. All Athletes (except those in the top 100 of the ITU Triathlon World Ranking) must have an ITU Triathlon Ranking as of 1 May, 2000, and have achieved a result within a specified margin of the winner's time on an ITU certified course (a % of the winner's time - to be determined).
2. If NOCs are unable to fill their allocated Olympic places, the unused places shall be reallocated according to the qualification procedure. If this is not possible, reallocation

will be made by the ITU in consultation with the IOC.

3. NOCs shall inform ITU and SOCOG of their chosen competitors, according to by-law / Rule 49 of the IOC Charter.

ITU Uniform Specifications for 1999

ITU will follow the same Uniform Specifications for 1999 as in 1998. Uniforms will be checked at World Cup and World Championship events and the Specifications will be adhered to.



Broadcasting Result List(1998)

ITU world cup and world championship			Long distance world championship Sado		
Country and area	Broadcasting bureau	Time	Country and area	Broadcasting bureau	Time
Africa	MNET,SABC,TV5	14	Africa	TV5	1
Asia	Star/ESPN	14	Asia	Star/ESPN	1*2
Australia	7 Network	14	Australia	Fox	1*3
Europe	Eurosport	14	Europe	Eurosport	1*2
South America	Fox Sports America	10	Brazil	GloboSat	1
Brazil	Globo,GloboSat	10	Canada	CTV,OLN	1*3
Canada	CTV	14	Great Britain	Channel5,Sky	1*3
Great Britain	Channel5,SkySport	4	France	TF1	1
China	CCTV	4	Germany	ARD,ZDF	1
France	TF1,Suprevison,M6	10	Italy	RAI	1
Germany	ZDF/ARD	4	New Zealand	TV1	1
Hungary	MTV	4	Singapore	TV12	1
Italy	RAI	2	South Africa	Mnet	1
New Zealand	TVNZ	14	Spain	Teledporte	1
Spain	TVE	14	Switzerland	SRG,TSR	1*2
Switzerland	SRG,TSR	4	U.S.A.	Fox	1
U.S.A.	Outdoor Life	28			
Japan	NHK-BS1	10			

* 2:2times, * 3:3times



日清製粉

日清製粉は、JTU(日本トライアスロン連合)公式大会のオフィシャルスポンサーです



その先に、勝利が見えてきた。

日清製粉は、選手の育成や強化に取り組むJTU(日本トライアスロン連合)とともに、日本ナショナルチームのサポートなどを通じて、トライアスリートたちを全力で応援しています。体内でグリコーゲンへと変わり、エネルギーの素となるカーボを、パスタで効率良く取り入れる「パスタカーボローディング」。勝利の食事法で、これからは私たち日清製粉は、トライアスリートとともにゴールを目指します。



彼女には夢が見えている。



Eye & Health Care

株式会社 ニデック

株式会社 ニデック販売

本社 / 愛知県蒲郡市拾石町前浜 34番地14 〒443-0038

TEL0533-67-6611(代)

支店 / 札幌・仙台・大宮・東京・横浜・蒲郡・金沢・京都・大阪・高松・広島・福岡

【業務内容】眼科医療機器の製造・販売 / 眼鏡店用機器の製造・販売
/ 眼科医療製品の輸入・販売 / 眼鏡コーティング / 半導
体関連機器の製造・販売

ニデック所属
トライアスリート 細谷はるな



アキコ、調査中。

サービス調査員 矢田亜希子

JOMOは、全国にサービス調査員を派遣して、サービスの向上に努めています。

いつでも、気持ちいいサービスをお届けしたいから。JOMOではサービス調査員がお客様の立場で接客、安全点検などサービスの厳しいチェックを行っています。あなたの近くのJOMOステーションで、きょうもアキコが、お客様の満足度を調査中です。

めざせ！満足度
No.1
ステーション

ジャパンエナジーに関する情報はインターネットでどうぞ。 <http://www.j-energy.co.jp/>

お問い合わせは JOMOお客様センターへ。 ☎ 0120-150-106 (受付時間) 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

JOMOステーション
株式会社JWVエナジー



UCC

BLACK IS UCC!